# 実施設計図書

令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−４ | | | | 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | | | | | | |
| 審　査 | 課長 | 補佐 | 専門官 | 担当者 | 設計者 | 名　　称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | | | | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | | | | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録　第122854号 |
| | | | | | | 所 在 地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録　第36591号 |

| 図面番号 | 図面名称 | 縮尺（A3） | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺（A3） |
|---|---|---|---|---|---|
| A00 | 妙高VC庇 図面リスト | - | 2S01 | 構造特記仕様書 | - |
| A01 | 妙高VC庇 特記仕様書１ | - | 2S02 | RC標準図(1) | - |
| A02 | 妙高VC庇 特記仕様書２ | - | 2S03 | RC標準図(2) | - |
| A03 | 妙高VC庇 特記仕様書３ | - | 2S04 | RC標準図(3) | - |
| A04 | 妙高VC庇 特記仕様書４ | - | 2S05 | 木標準図(1) | - |
| A05 | 妙高VC庇 特記仕様書５ | - | 2S06 | 木標準図(2) | - |
| A06 | 妙高VC庇 特記仕様書６ | - | 2S07 | 妙高VC庇 伏図(1) | １／50 |
| A07 | 妙高VC庇 特記仕様書７ | - | 2S08 | 妙高VC庇 伏図(2) | １／50 |
| A08 | 妙高VC庇 工事区分表 | - | 2S09 | 妙高VC庇 軸組図(1) | １／50 |
| A09 | 妙高VC庇 仮設計画 | - | 2S10 | 妙高VC庇 軸組図(2) | １／50 |
| A10 | 妙高VC庇 計画概要 案内図 配置図 | - | 2S11 | 妙高VC庇 断面表 | １／60 |
| A11 | 妙高VC庇 求積図 仕上表 | - | | | |
| A12 | 妙高VC庇 改修前後既存矩計図 | １／50 | E-01 | 妙高VC庇 改修後伝統設備図 | １／50 |
| A13 | 妙高VC庇 矩計図 | １／30 | | | |
| A14 | 妙高VC庇 立面図 | １／60 | | | |
| A15 | 妙高VC庇 展開図 | １／60 | | | |
| A16 | 妙高VC庇 屋根伏図 天井伏図 | 1／50 | | | |
| A17 | 妙高VC庇 外構図 | 1／300 | | | |
| A18 | 妙高VC庇 既存部分詳細図 | 図示 | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−４ | 図面名称 | 図面リスト |
| **発注機関** | 中部環境局 信越自然環境事務所 | 縮　尺 | - |
| **公園名称** | 妙高戸隠連山国立公園 | 図面番号 | A00 |
| 検　査 | | 設計者 | 名　称：(有)金箱構造設計事務所 |
| | | | 資格者氏名：金箱 温春 |
| | | | 登録番号：一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | | 所　在　地：一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修　**工事設計図**

特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　新潟県妙高市関川2248-4

2．敷地面積　2,969.31㎡

3．工事種目　1．エントランス庇増築及び既存建物改修
増築木造１階建及び既存改修　一　式
増築建築面積　計画建物18.23㎡（既存 建築面積：1038.05㎡）
増築延べ床面積　計画建物0.00㎡（既存 延べ面積：840.58㎡）

2．上記に伴う、電気設備工事　一　式

3．上記に伴う、外構整備　一　式

4．指定部分　・有　・無　対象部分（　　）
指定部分工期　年　月　日

5．工事範囲
※「3．工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3．工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿ の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

| | |
|---|---|
| 2. 仮設工事 | すべて |
| 3. 土工事 | |
| 4. 地業工事 | |
| 5. 鉄筋工事 | |
| 6. コンクリート工事 | |
| 7. 鉄骨工事 | |
| 8. ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCパネル<br>押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 | |
| 9. 防水工事 | |
| 10. 石工事 | |
| 11. タイル工事 | |
| 12. 木工事 | |
| 13. 屋根及びとい工事 | |
| 14. 金属工事 | |
| 15. 左官工事 | |
| 16. 建具工事 | |
| 17. カーテンウォール工事 | |
| 18. 塗装工事 | |
| 19. 内装工事 | |
| 20. ユニット及びその他の工事 | |

Ⅱ.　建築工事仕様
（1）図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○ を付けたものを適用する。
　○公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下、「標準仕様書」という。）
　○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下、「標準詳細図」という。）
　・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）
（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。
（3）本特記仕様書の表記
1）項目は、○ 印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
　○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　○ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）JG印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

グリーン購入法に基づく、環境物品等の調達に関する基本方針((以下「基本方針」という)(環境省ホームページに掲載)（毎年２月改定))において位置づけられた、「特定調達品目」に該当する材料及び建設機械等は、原則として基本方針に定める判断基準を満足するものを使用することとする。
なお、やむをえず判断基準に満たないものを使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。
また、「特定調達品目」の調達の実績（設備及び公共工事）について、当該年度の調達実績集計表（物品・役務及び公共工事）を環境省ホームページからダウンロードし、Excelファイルで作成し、提出する。
（4）「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設への木材利用量について、Excel・Wordファイルで作成し、提出する。

Ⅲ.　現場及び技術に係わる事項
（1）情報共有システム
※本工事は、情報共有システム利用対象工事である。
　詳細は「自然公園等整備工事及び業務の情報共有システム運用要領（案）」による。
・本工事は、情報共有システム対象外工事である。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 1 一般共通事項 | ○ 適用区分 | ・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。<br>・風圧力<br>風速（Vo＝ 30m/s）<br>地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ）<br>・積雪荷重<br>平成12年5月31日　建設省告示第1455号における区域　別表（三十） |
| | ○ 環境への配慮 (1.4.1) | （1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。<br>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセ アルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。<br>② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。<br>③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。<br>④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。<br>（2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。<br>①建築基準法施行令第20 条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料<br>②建築基準法施行令第20 条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料<br>③建築基準法施行令第20 条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料<br>④建築基準法施行令第20 条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 |
| | ○ 材料の品質等 (1.4.2) | （1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。<br>（2）備考欄に商品名が記載された材料は、同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。<br>（3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。<br>（4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。<br>①品質及び性能に関する試験データを整備していること。<br>②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。<br>③安定的な供給が可能であること。<br>④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。<br>⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。<br>⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。<br>（5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料 |
| | 室内空気中の化学物質の濃度測定 (1.5.9) | （1）室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、 エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。<br>（2）測定対象室及び測定箇所数は２箇所（　　）。<br>（3）測定は、パッシブ型採集機器により行う。<br>（4）測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。 |
| | ○ 完成写真 | 工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。<br>撮影部位及び箇所数 / 形式・サイズ / 提出セット数 / 画素数、画質等 / 撮影者<br>外観正面 1箇所：カラー印画紙キャビネ判 カラー印画紙キャビネ判 A４アルバム綴じ※ / 1 / 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの / 建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者<br>電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度) / 1<br>カラー木製パネル 半切(324×400mm)<br>上記と異なる 外部（ ）箇所 内部（ ）箇所：カラー印画紙キャビネ判 カラー印画紙キャビネ判 A４アルバム綴じ※<br>電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)<br>外部（10）箇所 内部（4）箇所：カラー印画紙キャビネ判 A４アルバム綴じ※ / 1 / 1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質 / 同上<br>電子データ (JPEGフルカラー) / 1<br>注：※のアルバムは併せて作成する。 |
| | ○ 他工事又は他工種との取合い | ○ 工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。<br>○ 増築建物の墨出し時に、既存建物との断面関係についてレーザー実測を行い、増築建物と既存建物の位置関係を確認し、それぞれの関係が把握できる断面図を作成した上で監督職員に報告すること。 |
| ② 仮設工事 | ○ 足場その他 (2.2.4) | 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 |
| ③ 土工事 | ・ 埋戻し及び盛土 (3.2.3) | 材料及び工法<br>※表3.2.1による<br>種別<br>・Ａ種　適用場所（　　）<br>・Ｂ種　適用場所（　　）<br>・Ｃ種　適用場所（　　）土質（　　）受渡場所（　　）<br>・Ｄ種　適用場所（　　）<br>品質細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。<br>・材料（　　）　工法（　　） |
| | ○ 建設発生土の処理 | ※ 現場説明書による　・構内指示の場所に堆積　・構内指示の場所に敷き均し (3.2.5)<br>○関係法令等に従い、適切に処理する公の関与する埋立地に搬出するものとする。 |
| | ・ 山留めの撤去 | 鋼矢板等の抜き後の処理　・　※直ちに砂等で充填する (3.3.3)<br>山留めの在置<br>・行う　（在置範囲　※図示　）<br>・ |
| 4 ～ 7 | | 特記仕様書（構造関係）による<br>4章　地業工事<br>5章　鉄筋工事<br>6章　コンクリート工事<br>7章　鉄骨工事 |
| 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 | ・ 補強コンクリートブロック造 | ブロックの種類（8.2.2） (8.2.2、3、5、7、8)<br>断面形状及び圧縮強さによる区分 / 正味厚さ(mm) / ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ / 高さ / 化粧の有無 / 適用箇所 / 備考<br>・ / / / / ・無 ・有 / / <br>・ / / / / ・無 ・有 / / <br>モルタルの調合（容積比） (8.2.3)<br>・セメント（　　）：砂（　　）<br>各部の配筋 (8.2.5)<br>※図示による（　　）<br>目地仕上げ<br>・押し目地仕上げ<br>・化粧目地仕上げ<br>まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲<br>※図示による（　　） |
| | ・ コンクリートブロック帳壁及び塀 | ブロックの種類 (8.3.2、3、4)<br>断面形状及び圧縮強さによる区分 / 正味厚さ(mm) / ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ / 高さ / 化粧の有無 / (表8.3.1)以外の適用箇所 / 備考<br>・空洞ブロックC（16） / / / / ・無 ・有 / / <br>・型枠状ブロック 20 / / / / ・無 ・有 / / <br>・ / / / / ・無 ・有 / / <br>塀の厚さ (8.3.2)<br>モルタルの調合（容積比）<br>※標準仕様書表8.2.1による<br>・セメント（　　）・砂（　　）<br>塀に用いるブロックの正味厚さ（㎜）<br>塀の高さが2m以下 ※120 ・<br>2m超え ※150 ・<br>壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 (8.3.4)<br>※図示による（　　）・<br>各部の配筋 (8.3.4)<br>※図示による（　　）・ |
| | ・ ALCパネル | ALCパネルの区分等 (8.4.2～5)<br>区分 / 単位荷重（N/㎡） 正荷重 / 負荷重 / 厚さ(mm) / 幅及び長さ / 耐火性能（時間） / 構法の種別<br>・外壁用 / ・一般 ・コーナー / ・平 ・意匠 / ・ / ・ / ・ / 図示による / ・なし ・1 / ・A種 ・B種<br>・間仕切壁用 / ・一般 ・コーナー / ・平 ・意匠 / － / － / ・ / 図示による / ・なし ・1 / ・C種 ・D種 ・E種<br>・屋根用 / － / － / ・ / ・ / ・ / 図示による / ・0.5 / ※F種<br>・床用 / － / － / ・ / － / ・ / 図示による / ・1 ・2 / <br>パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材<br>・<br>外壁、屋根パネルの構法<br>1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の耐風圧性能<br>外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能<br>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による<br>パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・図示による ・<br>目地幅（㎜）<br>（パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部） ・ ※10～20<br>外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない |
| | ・ 押出成形セメント板（ＥＣＰ） | (8.5.2～5)<br>パネルの種類 / 形状 / 厚さ(mm) / 幅(mm) / 工法の種別 / 備考<br>・外壁パネル / ・F / ・50 ・60 ・ / ※600 ・ / ・A種 ・B種 / <br>・D / ・50 ・60 / <br>・T / 60 / <br>・間仕切壁パネル / ・F / ・50 ・60 ・ / ※600 ・ / ・B種 ・C種 / <br>・D / ・50 ・60 / <br>・T / 60 / <br>外壁パネルの工法における耐風圧性能<br>1章 適用区分における風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の耐風圧性能<br>外壁パネル工法及び間仕切りパネル工法における耐震性能<br>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による<br>パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 図示による ・<br>パネル相互の目地幅(mm) ・長辺（　　）、短辺（　　）<br>出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※15程度 ・<br>耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ・ ※パネルの製造所の仕様<br>やむを得ず穴き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。 |
| 9 防水工事 | ・ アスファルト防水 | (9.2.2～5)(表 9.2.3～9)<br>屋根保護防水<br>防水層の種別<br>種別 / 施工箇所 / 断熱材 JG / 絶縁用シート<br>・ A-1 / / / ※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ　厚さ0.15mm以上 以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ　70g/㎡程度<br>・ A-2 / <br>・ A-3 / <br>・ B-1 / <br>・ B-2 / <br>・ AI-1 / / (材質）※JIS A 9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 3種bA(スキン層付き) （厚さ）（㎜） ・ / ※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ　70g/㎡程度 ・<br>・ AI-2 / <br>・ AI-3 / <br>・ BI-1 / <br>・ BI-2 / <br>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ<br>※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による<br>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ<br>用途による区分<br>材料構成による区分　※R種<br>厚さ（　　）　mm以上<br>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ<br>※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による<br>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ<br>用途による区分<br>材料構成による区分　※R種<br>厚さ（　　）mm以上<br>立上り部への断熱材及び絶縁シート<br>※設置しない　・設置する<br>平場の保護コンクリートの厚さ<br>こて仕上げ　※水下　80mm以上<br>床タイル張り　※水下　60mm以上<br>立上り部の保護工法<br>・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）<br>窯業系パネル類　厚さ（　　）㎜　幅（　　）㎜<br>・れんが押え（※JIS R 1250　・　）<br>・コンクリート押え<br>・モルタル押え（屋内）<br>屋根露出防水<br>防水層の種別<br>種別 / 施工箇所 / 断熱材 JG / 仕上塗料 種類 / 仕上塗料 使用量 / 高日射反射率防水の適用 JG<br>・D-1 / / / ・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 / ・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 / ・適用する<br>・D-2 / / / / / ・適用する<br>・DI-1 / / 標準仕様書9.2.2（9）（種類） ・ （厚さ）（㎜） ・ / / / ・適用する<br>・DI-2 / / / / / ・適用する<br>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ<br>※標準仕様書表9.2.8による<br>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ<br>用途による区分　・<br>材料による区分　※R種<br>厚さ（　　）㎜以上<br>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ<br>※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による<br>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ<br>用途による区分<br>材料による区分　※R種<br>厚さ（　　）㎜以上<br>絶縁断熱工法のループドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置<br>・図示による<br>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量<br>種類　・　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定<br>設置数量　・　個　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定<br>屋内防水<br>防水層の種別<br>種別 / 施工個所 / 種別 / 施工個所<br>・E-1 / / ・E-2 / <br>保護層　・設ける（※図示による　・　）　・設けない<br>E-1の工程3を行う部位<br>※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位<br>・<br>防水層の下地の立上り<br>※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種　・<br>立上り部の押え金物の材質及び形状及び寸法<br>※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・<br>防水層の下地のモルタル塗り　・適用する（施工範囲　※図示による　・　）<br>・適用しない<br>屋根排水溝　※図示による　・ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−４ | 図面名称 | 妙高VC庇 特記仕様書１ |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | 縮　尺 | − |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | 図面番号 | A01 |
| 検査 | | 設計者 名称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | 所在地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

・ 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水 (9.3.2 、3)) (表 9.3.1～3)

防水層の種別

| 種 別 | 施工箇所 | 断熱材 G | 防湿層 | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用量 | 高日射反射率防水の適用G |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・AS-T1 | | | | ・改質アスファルトシートの製造所の仕様 | ・改質アスファルトシートの製造所の仕様 | ・適用する |
| ・AS-T2 | | | | | | ・適用する |
| ・AS-T3 | | | | | | ・適用する |
| ・AS-T4 | | | | | | ・適用する |
| ・AS-J1 | | | | | | ・適用する |
| ・ASI-T1 | | 標準仕様書 9.3.2(3)(ｳ)(種類) ・ (厚さ) (mm) ・ | ・設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様による) ・設けない | | | ・適用する |
| ・ASI-J1 | | | | | | ・適用する |

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
・ ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ・（ ）個
※アスファルトシートの製造所の指定

・ 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別 (9.4.2～4) (表9.4.1～3)

| 種 別 | 施工箇所 | 可塑剤移行防止シートの材質 | 断熱材 G | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用量 | 高日射反射率防水の適用G |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・S-F1 | | | | ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・ | ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・ | ・適用する |
| ・S-F2 | | | | | | ・適用する |
| ・S-M1 | | | | ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・ | ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・ | ・適用する |
| ・S-M2 | | | | | | ・適用する |
| ・SI-F1 | | | 標準仕様書 9.4.2(3)(l)(b)(種類) ・ (厚さ)(mm) ・ | ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・ | ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・ | ・適用する |
| ・SI-F2 | | | | | | ・適用する |
| ・SI-M1 | | | 標準仕様書 9.4.2(3)(l)(a)(種類) ・ (厚さ)(mm) ・ | ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・ | ・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・ | ・適用する |
| ・SI-M2 | | ※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・ | | | | |

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿フィルム
・設置する ・設置しない

屋内防水
防水層の種別

| 種別 | 施工箇所 | 保護層 平場のモルタル塗り | 保護層 立上り部の保護モルタル塗厚 |
|---|---|---|---|
| ・S-C1 | | | ※7mm以下 ・ |

平場の保護モルタル床塗りにおける目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地割間隔3m程度
・

目地の種類
※押し目地

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類 ・
厚さ ・（ ）mm以上

固定金具の材料、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様

設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（ ）個

・ 塗膜防水

接着工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による ・ ）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示による ・ ）
・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の（・1 ・ ）倍の風圧力に対応した工法

防水層の種別 (9.5.3)(表 9.5.1、2)

| 種別 | 施工個所 | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用量 | 保護層 | 高日射反射率防水の適用G |
|---|---|---|---|---|---|
| ・X-1 | | ・主材料の製造所の仕様 ・ | ・主材料の製造所の仕様 ・ | | ・適用する |
| ・X-2 | | ・主材料の製造所の仕様 ・ | ・主材料の製造所の仕様 ・ | | ・適用する |
| ・Y-1 | ※地下外壁防水 ・ | | | | |
| ・Y-2 | ※屋内防水 ・ | | | ・適用する ・適用しない | |

ウレタンゴム系塗膜防水X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※主材料の製造所の仕様
・
設置数量
※主材料の製造所の仕様
・（ ）個

・ ケイ酸質系塗布防水

防水層の下地 (9.6.4)(表9.6.1)
壁
※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4 B種）
・
天井部
※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4 B種）
・

下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し
ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。
・図示による

標準仕様書9.6.4(2)の(ｲ)、(ｳ)以外の下地処理
・図示による

シーリング

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による (9.7.2、3、5)(表 9.7.1)
ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。

| 施工箇所 | シーリング材の種類（記号） |
|---|---|
| 軽量鋼製建具 | シリコーン系 |
| アルミ製建具・ガラス | シリコーン系 |
| | |

仕上げを行わない施工箇所（・図示による ・ ）
シーリング材の目地寸法
※標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
・図示による

接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

10 石工事

⊙ 施工 (10.1.3)

石材の割付け
※図示による

⊙ 石材等

天然石 (10.2.1、3)(表 10.2.1、2)

| 施工箇所 | 岩石の種類 | 形状及び寸法 寸法 (mm) | 厚さ (mm) | 表面仕上げの種類 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙床石 | ⊙図示 | ⊙図示 | ⊙図示 | ⊙図示 | |
| | | | | | |

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げ有無
・あり ⊙なし

テラゾブロック

| 施工箇所 | 種石の種類 | 種石の大きさ(mm) | 形状による区分 | 仕上げ面による区分 | 寸法 (mm) | 仕上げの種類 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ※大理石 ・花こう岩 | ※1.5～12 ・ | ・平もの ・役もの | ・片面 ・両面 | | | |
| | | | | | | | |

テラゾタイル

| 施工箇所 | 種石の種類 | 種石の大きさ(mm) | 寸法による区分 | 表面仕上げ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ※大理石 ・花こう岩 | ※1.5～12 ・ | ・300型 ・400型 | | |
| | | | | | |

その他の材料
取付け用モルタル
・ ※専門工事業者の指定する製品
既調合の目地モルタル
・ ※専門工事業者の指定する製品
浸透性吸水防水剤
・ ※専門工事業者の指定する製品
石裏面処理材
・ ※専門工事業者の指定する製品
裏打ち処理材
・ ※専門工事業者の指定する製品
ドレンパイプの材質
・ ※樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ
金物の固定に使用する充填材料等
・ ※専門工事業者の指定する製品

⊙ 外壁湿式工法 (10.2.2、3)(10.3.2、3)

受金物
材質 ・ ※SUS304
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm
・
アンカーの材質及び寸法
材質 ・ ※SS400
寸法 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法等
種類 ・ 材質 ・ 寸法・
ドレンパイプ
・設ける（設置位置：図示による）
・設けない
石裏面処理 ⊙適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ⊙適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー ・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法
目地
一般目地
・目地モルタル （目地幅 ・ ）
⊙既調合の目地モルタル （目地幅 ⊙図示 ）
・シーリング材 （種類 ※標準仕様書9.7.1による ・ ）
（目地幅及び深さ ・ ）
伸縮調整目地
位置
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による ・
目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

・ 内壁空積工法 (10.2.2)(10.4.2、3)

受金物
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm
・
あと施工アンカーの材質及び寸法等
種類 ・ 材質 ・ 寸法・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー ・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法

一般目地
・目地モルタル （目地幅 ・ ）
・既調合の目地モルタル （目地幅 ・ ）
※シーリング材 （種類 ※標準仕様書9.7.1による ・ ）
（目地幅及び深さ ・ ）
伸縮調整目地
位置
・6mm程度 ・
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
目地寸法

・ 外壁乾式工法 (10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)

乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
※標準仕様書表10.2.4による
（方式： ・スライド方式 ・ロッキング方式）
・図示による
あと施工アンカーの材質及び寸法等
種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・
だぼ用の穴の位置 ・図示による ※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法
1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
シーリング材
種類
※標準仕様書表9.7.1による ・
目地幅及び深さ ・

・ 床及び階段の石張り (10.6.2、3)

浸透性吸収防水剤
（床石張り） ・適用する ・適用しない
石裏面処理
（床石張り） ・適用する ・適用しない
（階段張り） ・適用する ・適用しない
裏打ち処理
（床石張り） ・適用する ・適用しない
一般目地
・目地モルタル （目地幅 ・図示 ）
・既調合の目地モルタル （目地幅 ・図示 ）
・シーリング材 （種類 ※標準仕様書9.7.1による ・ ）
（目地幅及び深さ ・ ）
伸縮調整目地
位置
※標準仕様書10.6.2(5)(a)
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による ・
目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

・ 笠木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.1、2)

取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法
特殊部位用金物
材質 ※SUS304 ・
寸法等
引金物 ※標準仕様書表10.2.3による ・
だぼ ※標準仕様書表10.2.3による ・
かすがい ※標準仕様書表10.2.3による ・
受金物 ※標準仕様書10.2.2(1)(ｲ)による ・
乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
ファスナー
※標準仕様書表10.2.4に準ずる
（方式： ・スライド方式 ・ロッキング方式）
・図示による
あと施工アンカーの材質及び寸法等
種類 ・ 材質 ・ 寸法・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ・ ※70mm程度
石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない
一般目地
・目地モルタル （目地幅 ・ ）
・既調合の目地モルタル （目地幅 ・ ）
・シーリング材 （種類 ・標準仕様書9.7.1による ・ ）
（目地幅及び深さ ・ ）
伸縮調整目地
位置
※標準仕様書表10.6.2(5)(a)による
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による ・
目地寸法 ・図示による

11 タイル工事

・ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)(表11.1.1)

位置 ※標準仕様書表11.1.1による ・図示による
目地寸法 ・図示による

・ セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2、6)

タイルの形状、寸法等

| 施工箇所 | 種類 | 形状/寸法 (mm) | 再生材料の適用G | 吸水率による区分 I類 | II類 | III類 | 反りわずり 施ゆう | 無ゆう | 役物 有 | 無 | 色 標準 | 特注 | 耐凍害性 有 | 無 | 耐滑り性 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による）
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混合剤等を予め工場に所定に割合に配合した材料とする。
既調合目地材料（品質・性能、試験方法は別表による）
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（高圧水洗処理）・MCR工法
壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2～5)

タイルの形状、寸法等

| 施工箇所 | 種類 | 形状/寸法 (mm) | 再生材料の適用G | 吸水率による区分 I類 | II類 | III類 | 反りわずり 施ゆう | 無ゆう | 役物 有 | 無 | 色 標準 | 特注 | 耐凍害性 有 | 無 | 耐滑り性 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
目地のシーリング材
打継ぎ目地
※ポリウレタン系シーリング材
ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地
※変成シリコーン系シーリング材
その他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
下地調整材塗りを行うコンクリート素地面の処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）・MCR工法
外装タイルの目地詰め
・行う ・行わない

12 木工事

⊙ 一般施工 (12.2.1)

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(1)(ｳ)(b)

⊙ 製材 G (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

| 施工箇所 | 寸法 (mm) | 等級 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| 壁下地間柱屋根下地 | ※図示 | ※2級 ・ | ※A種 ・B種 ・ | | ⊙ |
| | | ※2級 ・ | ※A種 ・B種 ・ | | ・ |
| | | ※2級 ・ | ※A種 ・B種 ・ | | ・ |

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

| 施工箇所 | 寸法 (mm) | 等級 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※見え掛り面 | ※図示 | ※図示 ・ | ※A種 ・B種 ・ | | ・ |
| ※見え掛り面以外 | ※図示 | ※小節程度 ・ | ※A種 ・B種 ・ | | ・ |
| | | ・ | ※A種 ・B種 ・ | | ・ |

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

| 施工箇所 | 寸法 (mm) | 等級 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ※1級 ・ | ※10%以下 ※A種 ・B種 ・ | | ・ |
| | | ※1級 ・ | ※10%以下 ※A種 ・B種 ・ | | ・ |
| | | ※1級 ・ | ※10%以下 ※A種 ・B種 ・ | | ・ |

・JAS 1083（製材）以外の製材

| 施工箇所 | 寸法 (mm) | 材面の品質 | 防虫処理 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | （ ） 造作材の場合 (※A種 ・B種) | ・適用する ・適用しない | ※A種 ・B種 ・ | ・ |
| | | （ ） 造作材の場合 (※A種 ・B種) | ・適用する ・適用しない | ※A種 ・B種 ・ | ・ |
| | | （ ） 造作材の場合 (※A種 ・B種) | ・適用する ・適用しない | ※A種 ・B種 ・ | ・ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248－4 | 図面名称 | 妙高VC庇 特記仕様書２ |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | 縮 尺 | ― |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | 図面番号 | A02 |
| 検 査 | | 設計者 名 称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | 所 在 地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

## 造作用集成材 G

(12.2.1)

●「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

| 施工箇所 | 品名 | 樹種名 | 寸法 (mm) | 見付け材面 | 見付け材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | ※1等　・2等 | ・ |
| | | | | | ※1等　・2等 | ・ |
| | | | | | ※1等　・2等 | ・ |

●「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

| 施工箇所 | 品名 | 材種名 | 寸法 (mm) | 化粧薄板の厚さ(㎜) | 見付け材面 | 見付け材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 化粧薄板：<br>芯材： | | | | ※1等<br>・2等 | ・ |
| | | 化粧薄板：<br>芯材： | | | | ※1等<br>・2等 | ・ |
| | | 化粧薄板：<br>芯材： | | | | ※1等<br>・2等 | ・ |

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

| 施工箇所 | 材種名 | 寸法 (mm) | 見付け材面の品質 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ※15%以下<br>・ | ・ |
| | | | | ※15%以下<br>・ | ・ |
| | | | | ※15%以下<br>・ | ・ |

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

| 施工箇所 | 材種名 | 寸法 (mm) | 化粧薄板の厚さ(㎜) | 見付け材面の品質 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 化粧薄板：<br>芯材： | | | | ※15%以下<br>・ | ・ |
| | 化粧薄板：<br>芯材： | | | | ※15%以下<br>・ | ・ |
| | 化粧薄板：<br>芯材： | | | | ※15%以下<br>・ | ・ |

## ・造作用単板積層材 G

(12.2.1)

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

| 施工箇所 | 品名 | 寸法 (mm) | 表面の品質 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ・適用する<br>・適用しない | ・ |
| | | | | ・適用する<br>・適用しない | ・ |
| | | | | ・適用する<br>・適用しない | ・ |

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

| 施工箇所 | 寸法 (mm) | 表面の品質 | 含水率 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ※14%以下<br>・ | ・適用する<br>・適用しない | ・ |
| | | | ※14%以下<br>・ | ・適用する<br>・適用しない | ・ |
| | | | ※14%以下<br>・ | ・適用する<br>・適用しない | ・ |

・JAS 3079に基づく直交集成板:G

| 施工箇所 | 品名 | 強度等級 | 種別 | 接着性能 (使用環境) | 樹種名 | 寸法 (mm) | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | ・ |
| | | | | | | | ・ |
| | | | | | | | ・ |

## ⊙ 合板等

(12.2.1)

⊙「合板の日本農林規格」による普通合板 :G

| 施工箇所 | 厚さ (mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ※5.5<br>⊙図示 | | ※1類<br>・2類 | 広葉樹<br>※2等以上<br>・1等<br>針葉樹<br>※C-D以上 | ・適用する<br>・適用しない | ・ |
| | | | | | | ・ |
| | | | | | | ・ |

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板 :G

| 施工箇所 | 等級 | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 厚さ (mm) | 防虫処理 | 強度等級 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ※2級以上<br>・1級 | | ・特類<br>※1類 | ※C-D以上<br>・ | ※12<br>⊙図示 | ・適用する<br>(　　)<br>・適用しない | ・適用する<br>(　　)<br>・適用しない | ・ |
| | | | | | | | | ・ |
| | | | | | | | | ・ |

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 :G

| 施工箇所 | 厚さ (mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・1類　・特類 | ・適用する<br>・適用しない | ・ |
| | | | | | ・ |
| | | | | | ・ |

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 :G

| 施工箇所 | 化粧板に使用する単板の樹脂名 | 厚さ (mm) | 接着の程度 | 防虫処理 |
|---|---|---|---|---|
| | | | ※1類　・2類 | ・適用する<br>・適用しない |
| | | | | |
| | | | | |

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 :G

| 施工箇所 | 厚さ (mm) | 接着の程度 | 単板の樹脂名 | 化粧加工の方法 | 防虫処理 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ※1類　・2類 | | | ・適用する<br>・適用しない |
| | | | | | |

・パーティクルボード :G

| 施工箇所 | 表裏面の状態による区分 | 曲げ強さによる区分 | 耐水性による区分 | 難燃性による区分 | 厚さ (mm) |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ※13タイプ<br>・ | ※P又はM<br>・ | | ※15<br>・ |
| | | | | | |
| | | | | | |

・JAS 0306に基づく構造用パネル

| 施工箇所 | 寸法(㎜) |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |

・MDFG

| 施工箇所 | 厚さ (mm) | 表裏面の状態による区分 | 曲げ強さによる区分 | 接着剤による区分 | 難燃性による区分 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## ⊙ 接合具等

(12.2.2)

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・つぶし頭埋め木
・釘頭表し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（標準仕様書表12.2.3〜5に示す程度の市販品　表14.2.2のF種程度
・　　（形状：　　寸法：　　材質　　）

## ⊙ 接着剤

(12.2.2、3)

接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆

## ・ 防腐・防蟻 処理

(12.3.1、2)

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位：（　　）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

| 適用部位 | 保存処理性能区分 |
|---|---|
| | ・K2　・K3　・K4 |
| | ・K2　・K3　・K4 |
| | ・K2　・K3　・K4 |

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

| 適用部位 | 処理の方法 | 薬剤の方法 |
|---|---|---|
| | ※薬剤の製造所の仕様による | ※JIS K 1571に適合又は同等品 |
| GLから高さ1mの範囲にある木材全て | ※標準仕様書12.3.1(f)(b)①〜④による | ※JIS K 1571に適合又は同等品 |

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　　）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位（　　）

## ・ 内部間仕切軸組及び床組み

(12.4.1)

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　・
・床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　・

## ・ 窓、出入口その他

(12.5.1)

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は杉又は松

## ・ 床板張り

(12.6.1)

・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※ひのき　・

## ⊙ 壁及び天井下地

(12.7.1)

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　・

## 13 屋根及びとい工事

### ⊙ 長尺金属板葺

(13.2.2、3)

| 施工箇所 | 板及びｺｲﾙの種類 | 塗膜の耐久性の種類、めっき付着量 | 厚さ (mm) | 屋根葺形式 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 屋根 | ※JIS G 3322の屋根用ｺｲﾙ<br>(着色　⊙有) | フッ素樹脂塗装、AZ150<br>千代田鋼鉄工業株式会社<br>チヨダカラーGL HF20<br>同等品 | ⊙0.4<br>・0.5 | ・心木なし瓦棒葺<br>・立平葺・蟻掛葺<br>⊙横葺（一文字葺）<br>・ | |
| | | | | | |
| | | | | | |

下葺材料　⊙アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般ﾀｲﾌﾟ　・複層材ﾀｲﾌﾟ　・粘着層付ﾀｲﾌﾟ）
横葺きの場合のけらば納め
⊙つかみ込み納め　・けらば包み納め
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　⊙1.3）倍の風圧力に対応した工法
雪止め
⊙設置する（施工場所　⊙図示　・　）
・設置しない

### ・ 折板葺

(13.2.2)(13.3.2,)(表 13.2.1)

| 施工箇所 | 形式 | 山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 | | 耐力による区分 | 材料による区分 | 厚さ (mm) | 軒先面戸板 | 耐火性能 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 山高 | 山ﾋﾟｯﾁ | | | | | |
| | ・重ね形<br>・はぜ締め形<br>・かん合形 | | | (　)種 | ※鋼板製<br>・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製 | | ・有り<br>・無し | ・30分<br>・無し |
| | ・ | | | ・ | | | | |

材料　折板の材質の種類（・JIS G 3322の屋根用（着色　・有）
塗膜の耐久性の種類、めっき付着量（・5級(AZ150)
断熱材張り
・行う　(断熱材の種別：　　厚さ(㎜)　　防火性能　　)
・行わない
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用
・適用する　・適用しない
折板のけらば納め
※けらば包みによる方法
雪止め
・設置する　(形状及び施工箇所　・図示による　・　　)
・設置しない

## ・ 粘土瓦葺

(13.4.2、3)

| 施工箇所 | 種類 | | | 産地 | 役物瓦の種類 | 雪止め瓦 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 製法による区分 | 形状による区分 | 寸法による区分 | | | |
| | | | | | | ・適用する<br>・適用しない |
| | | | | | | ・適用する<br>・適用しない |

桟瓦の防災瓦の使用　・適用する　・適用しない
JIS5208に基づく凍害試験等
・行う　・行わない
瓦桟木　材質　※杉　・
寸法　※幅21×高さ15(mm)以上　・
棟補強用心材　材質　※杉　・
寸法　※幅40×高さ30(mm)以上　・
瓦緊結用釘及びねじ
種類（　　）　径（　　）　長さ（　　）
棟補強等に使用する金物等
材質　・ステンレス製　・溶解亜鉛めっき処理うを行った鋼製
形状、寸法及び留付け方法
※図示による
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等　※図示による
瓦桟木の留付け工法　※図示による
棟の工法
・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟
・のし積み棟　・
置戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル　・瓦葺き用しっくい

## ・ とい

(13.5.2、3)(表 13.5.4)

とい　その他材種　・配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管
ルーフドレン　・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　　）
・
とい受金物
材種　※標準仕様書表13.5.2による（溶解亜鉛めっきを行ったもの）　・
形状　※市販品（とい径 100以下）
25×4.5(㎜)以上（とい径 100 を超えるもの）　・
取付け間隔　※標準仕様書表13.5.2による
足金物
材種　※標準仕様書表13.5.2による（溶解亜鉛めっきを行ったもの）　・
形状　※市販品　・
取付け間隔　※標準仕様書表13.5.2による
多雪地域　・適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
鋼管製といの防露巻き　※標準仕様書表13.5.4による）

ルーフドレンの種類及び呼び

| 種別 | | 呼び | 施工箇所 |
|---|---|---|---|
| ・ろく屋根用たて形型 | ※ねじ込み式 | ・80　・100<br>・125　・150 | |
| ・ろく屋根用横形型 | ※ねじ込み式 | ・80　・100<br>・125　・150 | |
| ・バルコニー中継用 | ※ねじ込み式 | ・50　・80　・100 | |
| | ※差し込み式 | ・50　・75　・100 | |
| ・バルコニー用 | ※ねじ込み式 | ・50　・80　・100 | |
| | ※差し込み式 | ・50　・75　・100 | |

## 14 金属工事

### ・ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表 14.2.1)

| 種別 | 色合い等 | 施工箇所（成形板、笠木、建具以外） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

### ・ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)(表 14.2.2)

| 表面処理方法 | 種別 | 施工箇所（手すり、グラップ以外） |
|---|---|---|
| ・溶融亜鉛めっき | ・A種 | |
| | ・B種 | |
| | ・C種 | |
| ・電気亜鉛めっき | ・D種 | |
| | ・E種 | |
| | ・F種 | |

### 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2〜4)(表14.4.1)

野縁等の種類
屋外（※25 形　・ 19 形）　屋内（※19 形　・ 25 形）
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示による　・
周辺部の端からの間隔　・図示による　・
野縁の間隔　・図示による　・
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　・図示による　・　　）
（補強方法　※図示による　・　　）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

### ・ 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3、4)(表 14.5.1)

スタッド、ランナの種類
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類　・図示による　・
スタッドの高さが5.0mを超える場合　※図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※標準仕様書14.5.4(5)による　・

### ・ 金属成形板張り

(14.6.2,3)(表 14.2.1)

| 種別 | 製法 | 形状 | 板幅 (mm) | 板厚 (mm) | 表面処理 種別 | 表面処理 色合い等 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ | ・押出し<br>・ロール<br>・プレス<br>・ | ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形<br>パネル形 | | | | |

取付け用下地　※標準仕様書14.4による ・図示による
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示による　・　　）　・設けない
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

## ・ アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)

種類　・250形　・300形　・350形
表面処理　種別（　　）種
色合い等　・標準色（　　）　・特注色（　　）
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

## 15 左官工事

### ⊙ モルタル塗り

(15.3.2、5)

モルタル　⊙現場調合材料　・既調合材料
・既調合材料　（　　）
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（※図示による　・　　）
・設けない
床の目地　⊙設ける
目地割り　※2m程度（最大目地間隔3m程度）
目地の種類　※押し
・設けない
屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する　・適用しない
防水剤（品質・性能、試験方法は別表による）

### ・ ラス系下地

(15.2.4)

ラス系下地
・二層下地通気構法
・単層下地通気構法
換気口部の措置（※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(ｲ)　・　　）
・直貼りラスモルタル下地
・直貼りラスシートモルタル下地
ラスの材料
・種類及び記号　（　　）
・単位面積当たりの質量　（　　）
ラスシートの材料
ラス目による区分（※M　・　　）
山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
（・LS4（建築基準法に基づく耐力壁）　・　　）
ステープルの形状及び寸法（　　）
直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力破壁のラスシートの施工
（　　）

### ・ せっこうボード その他のボード下地

(15.2.5)

せっこうボード及びせっこうラススボードの種類及び厚さ
種類（・GB-R　・GB-L　・図示　）　厚さ（　図示　㎜）
木質系セメント板の種類及び厚さ
種類（・　　）　厚さ（　　㎜）

### ・ こまい下地

(15.2.6)

建築基準法に基づく耐力壁の指定（・あり　・なし）

### ・ 木ずり下地

(15.2.7)

木ずり用小幅板の種類（※すぎ（心去り材）　・　　）

### ・ 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)

内装材仕上げに用いる塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

| 種類（呼び名） | 仕上げの形状 | 工法 | 吸放湿性 | 防火材料 |
|---|---|---|---|---|
| ・ | | | ・適用する | ・ |
| ・ | | | ・適用する | ・ |

・厚付け仕上塗材

| 種類（呼び名） | 仕上げの形状 | 工法 | 吸放湿性 | 上塗り | 防火材料 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・ | | | ・適用する | ・適用する | ・ |
| ・ | | | ・適用する | ・適用する | ・ |

・複層仕上塗材

| 種類（呼び名） | 仕上げの形状 | 工法 | 上塗材の種類 | 耐候性 | 防火材料 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・<br>・ | ・ | ・ | 樹脂<br>外観<br>溶媒 | ・耐候形<br>1種<br>・耐候形<br>2種<br>・耐候形<br>3種 | ・ |
| | | | ・ | ・ | |

・軽量骨材仕上塗材

| 種類（呼び名） | 防火材料 |
|---|---|
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

### ・ マスチック塗料塗り

(15.7.2)

種別　・A種　・B種

### ・ ロックウール吹付け

(15.12.2、3)

ロックウールのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

仕上げ吹付け厚さ(mm)　・図示による　・25㎜

### ・ しっくい塗り

(15.10.2〜4)

しっくい
・既調合材料
色しっくい　・適用する　・適用しない
・現場調合材料
下地
・せっこうボード　・せっこうラスボード　・モルタル塗り　・木ずり
・こまい　・下塗りをせっこうプラスターとして上塗りに使用する場合
既調合しっくいの場合
・せっこうボード下地　※標準仕様書表15.10.1　・
・モルタル塗り下地　※標準仕様書表15.10.2　・
・せっこうプラスターボード下地　※製造所の仕様による　・
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
・木ずり下地　※標準仕様書表15.10.3　・
・せっこうプラスター下地、こまい下地　※標準仕様表15.10.4　・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−4 |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 図面名称 | 妙高VC庇 特記仕様書３ | | | | |
| 縮　尺 | ー | | | | |
| 図面番号 | A03 | | | | |
| 検　査 | | | | | |
| 設計者 | 名　称 | (有)金箱構造設計事務所 | | | |
| | 資格者氏名 | 金箱 温春 | | | |
| | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録 | 第122854号 | | |
| | 所在地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 | 第36591号 | | |

建具工事

・こまい壁塗り (15.11.2～5、7、8)

のり
・土壁用ののり ※つのまた ・ふのり ・ぎんなんそう ・粉末海藻 ・
・砂壁用ののり ※ふのり ・つのまた ・こんにゃくのり ・膠 ・合成高分子系混和剤 ・

色土
・土物仕上げに用いる色土の種類 （ ）
・大津仕上げに用いる色土の種類 （ ）

色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの

下塗りの調合
※標準仕様書表15.11.2

塗厚
※標準仕様書表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（ ）

こまい工程 ※A種 ・B種
こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法
・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法

こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法

ちりじゃくり
・図示による ・

・防火戸 (16.1.3)

・建具表による ・

・見本の製作等 (16.1.4)

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ）
・行わない
建建具見本制作の目的等
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
・行わない

・防犯建物部品 (16.1.6)

・適用する（・建具表による ・ ）
・適用しない

・アルミニウム製建具 (16.2.2、4、5)（表14.2.1）(表16.2.1、2)

性能等級
耐風圧性の等級（・S-4 ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
気密性の等級 （・A-3 ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
水密性の等級 （・W-4 ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号：AW・建具表による ・ ）
・B種（建具符号：・建具表による ・ ）
・C種（建具符号：・建具表による ・ ）
・D種（建具符号：・建具表による ・ ）
・E種（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア、断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別 ・BB-1 BB-2（※標準仕様書表14.2.1）
着色 ・標準色 ・特注色
屋内の建具
種別 ・BB-1 BB-2（※標準仕様書表14.2.1）
着色 ・標準色 ・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式 ・排水式
工法
水切り板、ぜん板 ※図示による ・
木下地の場合の内付建具
・適用しない ・適用する

・網戸等 (16.2.3)

| 種類 | 材種 | 線径 | 網目 |
|---|---|---|---|
| ・防虫網 | ※合成樹脂製<br>・ガラス繊維入り合成樹脂製<br>・ステンレス(SUS316)製 | ※0.25mm以上<br>・ | ※16～18メッシュ<br>・ |
| ・防鳥網 | ステンレス(SUS304)線材 | 1.5mm | 網目寸法15mm |

・樹脂製建具 (16.2.5) (16.3.2～5)（表16.3.1～3）

性能等級
耐風圧性の等級（・ ）
気密性の等級 （・ ）
水密性の等級 （・ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号：・建具表による ・ ）
・B種（建具符号：・建具表による ・ ）
・C種（建具符号：・建具表による ・ ）
・D種（建具符号：・建具表による ・ ）
・E種（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア、断熱サッシ G 断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8 ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
枠の見込み寸法 ・建具表による ・
材料
ガラス
※複層ガラス（組合わせは建具表による）
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・
形状及び仕上げ
表面色 ・標準色 ・特注色
工法
水切り板、ぜん板 ※図示による ・
木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する

・鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2～4) (表16.4.6)(表16.4.2)

性能等級
簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア,防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア,断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ（㎜）
※標準仕様書表16.4.2による
・ 使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による ・

・鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2～4)（16.5.6）（表16.5.1）

性能等級 ・文化シャッター株式会社 自動閉鎖装置付引戸 カームスライダー同等
簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
防音ドア,防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア,断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
召合せ、縦小口包み板の性能 ※鋼板 ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ（㎜）
※標準仕様書表16.5.1による
・ 使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による ・

・ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)

性能等級
簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア,防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア,断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ ・

・木製建具 (16.7.2～4)

建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書16.7.2(2)(ｲ)(a)による
表面材の合板の種類

| 合板の種類 | 規格等 | 備考 |
|---|---|---|
| ・普通合板 G | 表面の樹種<br>板面の品質（※広葉樹1等 ・ ）<br>接着の程度（・1類 ・2類） | |
| ・天然木化粧合板 G | 樹種名（ ）<br>接着の程度（・1類 ・2類） | |
| ・特殊加工 化粧合板 G | 化粧加工の方法<br>※プリント<br>・ポリエステル化粧合板<br>・メラミン化粧合板<br>接着の程度（・1類 ・2類） | |
| ・MDF G | | |

表面板の厚さ ※表16.7.6による ・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・
・ふすま
張りの種別（・I型 ・II型）
上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・
・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による ・
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・
枠、くつずりの材料 ・建具表による ・

・建具用金物 (16.8.2、3)(表 16.8.1～5)

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による ・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による ・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による ・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による ・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による ・建具表による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による ・
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠（品質・性能、試験方法は別表による）
クローザー類（品質・性能、試験方法は別表による）

・鍵 (16.8.4)

マスターキー ・製作する ・製作しない
鍵の製作本数 ※各室3本1組（室名札付き） ・
鍵箱 ※有り ・無し

・自動ドア開閉装置 (16.9.2、3)

戸の開閉方式
・建具表による ・
・引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書表16.9.1（防塵 ・適用する ・適用しない）
・種類・開閉方式 （ ）
・耐電圧 （ ）
・温度上昇 （ ）
・耐久性（サイクル） （ ）
・防錆 （ ）
・電源 （ ）
・車椅子使用者便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書表16.9.2（防塵 ・適用する ・適用しない）
・耐電圧 （ ）
・温度上昇 （ ）
・耐久性（サイクル） （ ）
・防錆 （ ）
・電源 （ ）
・引き戸用検出装置
性能値 ※標準仕様書表16.9.3（防塵 ・適用する ・適用しない）
・耐電圧 （ ）
・防錆 （ ）
・防滴 （ ）
・電源 （ ）
引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16.9.4
・建具表による ・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う ・行わない

・自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)（表16.10.1）

性能値等 ※（表 16.10.1）
・手動開き力 （ ）
・手動閉じ力 （ ）
・閉じ速度の調整 （ ）
・制動区間 （ ）
・開閉繰返し （ ）
・耐衝撃性 （ ）

・重量シャッター (16.11.2、3)

シャッターの種類 ・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）pa
開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置
電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・

・軽量シャッター (16.12.2～4)

開閉形式の種類 ※手動式 ・電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）pa
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
スラットの材質 の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

・オーバーヘッドドア (16.13.2、3)

| セクション材による区分 | 耐風圧による強さの区分 | 開閉方式による区分 | 収納形式による区分 | ガイドレールの材料 |
|---|---|---|---|---|
| ※スチールタイプ<br>・アルミニウムタイプ<br>・ファイバーグラスタイプ | ・50<br>・75<br>・100<br>・125 | ※バランス式<br>・チェーン式<br>・電動式 | ・スタンダード形<br>・ローヘッド形<br>・ハイリフト形<br>・バーチカル形 | ※溶融亜鉛めっき鋼板<br>・ステンレス鋼板 |

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）

・ガラス (9.7) (16.14.2～4) (表16.14.1)

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
・建具表による
・
・型板ガラスの厚さによる種類
・建具表による
・
・網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による
・
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による
・
落球衝撃は∨離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・I類 ・III類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
・
性能による種類
・1種 ・2種
・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
・
断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G ・S
乾燥気体の種類
・空気 ・アルゴン ・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮へい性による区分
・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・ A類 ・ B類
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2)（9.7）

| 建具の種類 | ガラス留め材の種別 | ガラス溝の大きさ(mm) |
|---|---|---|
| アルミニウム製 | ・シーリング材<br>・グレイジングチャンネル形<br>・ | ・建具製造所の仕様による<br>・図示による<br>・ |
| 鋼製及び鋼製軽量 | ・シーリング材<br>・ | ・建具製造所の仕様による<br>・図示による<br>・ |
| ステンレス製 | ・シーリング材<br>・ | ・建具製造所の仕様による<br>・図示による<br>・ |
| 樹脂製 | ・グレイジングチャンネル形<br>・ | ・建具製造所の仕様による<br>・図示による<br>・ |

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

・ガラスブロック積み (16.14.5)

| 呼び寸法（㎜） | 厚さ（㎜） | 色調 | 目地幅(mm) | 伸縮調整目地位置（mm） | 防火性能 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・160×160 | ・95<br>・ | | | | |
| ・200×200 | ・95<br>・ | | | | |
| | | | | | |

壁用金属枠及び補強材
※図示による ・
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・
寸法 ※径5.5mm ・
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色（・白 ・グレー ）
シーリングの種類 （・SR-1 ・PS-1 ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・
寸法 ※図示による ・
形状 ※図示による ・
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔
・図示による
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

17 カーテンウォール工事

・取付形態、性能等 (17.1.3)

取付け形態による分類
・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式 ・
性能

| 水密性 | 気密性 | 遮音性 | 断熱性 | 耐火性能 | 耐風圧差性（℃） |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ・30分 | ・80 |
| | | | | ・1時間 | ・70 |
| | | | | | ・60 |

耐風圧性
1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

| 支点間距離(h) | 耐風圧性能 |
|---|---|
| 4m以下 | ・たわみ量が±(1/150)xh かつ絶対量20mm以下であること ・ |
| 4mを超える | |

耐振性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
性能の確認方法及び判定方法
※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248－4 | | 図面名称 | 妙高VC庇 特記仕様書４ | |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | | 縮 尺 | － | |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | | 図面番号 | A04 | |
| 検 査 | | | 設計者 | 名 称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | | | 所 在 地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

・メタルカーテンウォール　(17.2.2、3、5、6)

金属系材料の種類
・アルミニウム材　・鋼材　・ステンレス鋼材
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等　※図示による　・
ガラスの取付け材料
・シーリング
種類（・SR-2　・SR-1）
・構造ガスケット
形状・寸法等　・図示による
断熱材 G
種類及び範囲　※図示による
形状及び仕上げ
製品の寸法許容差　※標準仕様書表17.2.1による　・
見え掛かり部の仕上げ
（アルミニウム材の場合）
規格等　標準仕様書16.2.3による
種別　・　（標準仕様書表14.2.1）
着色　・標準色　・特注色
（鋼材及びステンレス鋼材の場合）
・
ガラス溝の寸法、形状等
※カーテンウォールの製造所の仕様
・
取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向　※±10mm　・
水平方向　※±25mm　・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅　※±3㎜　・
目地の心の通り　※0～2㎜　・
目地両側の段差　※0～2㎜　・
各階の基準墨から各部材までの距離　※±3mm　・
耐火処理
適用部位、材料等　※図示による
ガラスの取付け材料
ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法
※4辺支持

・ＰＣカーテンウォール　(17.3.2～6)(表17.3.1、2)

材料
コンクリート　種類（・普通コンクリート　・軽量コンクリート1種　・　）
品質　設計基準強度(Fc) ※30N/mm2　・
スランプ　・　※　12cm
気乾単位容積質量
・普通コンクリートの場合 2.1t/m を超え2.5t/m 以下
・軽量コンクリートの場合 1.8t/m ～2.1t/m
・
単位水量の最大値　・　※185kg/m
鉄筋　種類の記号　※SD295　・
補強鉄線
径(mm)　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0
網目寸法　・
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法の種類　※図示による　・
ガラスの取付け材料
・構造ガスケット
・形状、寸法等　・図示による
耐火処理
適用部位、材料等　※図示による
断熱材 G　種類（　）
種類及び範囲　※図示による
先付けの材料
・表面仕上材
・セラミックタイル
・石材
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール
形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差
辺長　※±3mm　・
対角線長の差　※0～5mm　・
版厚　※±2mm　・
開口部内法寸法　※±2mm　・
ねじれ、反り　※0～5mm　・
曲がり　※0～3mm　・
面の凸凹　※0～3mm　・
先付け金物の位置 ※0～5mm　・
PCカーテンウォールの仕上げ　・
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
※図示による　・
製作
PC版の配筋　※図示による
取付け
躯体取付金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向
※±10㎜　・
水平方向
※±25㎜　・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法の許容差
目地の幅
※±5㎜　・
目地の心の通り
※0～3㎜　・
目地両側の段差
※0～4㎜　・
各階の基準墨から各部位までの距離
※±5㎜　・
ガラスの取付け方法
・ガラスの取付け材が構造用ガスケット等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

・材料　(18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・以下の箇所を除き防火材料とする。
（箇所：　）

・素地ごしらえ　(18.2.2～7)

| 下地面等 | | 種別 |
|---|---|---|
| 木部 | 不透明塗料塗りの場合 | ※A種　・B種 |
| | 透明塗料塗りの場合 | ※B種　・A種 |
| 鉄鋼面（DP以外） | | ※C種　・A種　・B種 |
| 鉄鋼面（DPのみ） | | ※B種　・A種　・C種 |
| 亜鉛めっき鋼面 | | ☉A種　・B種 |
| モルタル面及びプラスター面 | | ※B種　・A種 |
| コンクリート面（DP以外）及びＡＬＣパネル面 | | ※B種　・A種 |
| 押出成形セメント板面 | | ※B種　・A種 |
| コンクリート面（DPのみ） | | ※A種　・B種 |
| せっこうボード面及びその他ボード面 | 目地：継目処理工法 | ※A種　・B種 |
| | 目地：継目処理工法以外 | ※B種　・A種 |

・錆止め塗料塗り　(18.3.2、3)

| 下地面 | 塗料の種別 | 錆止め塗料の種別 | 錆止め塗料塗りの工程 |
|---|---|---|---|
| 鉄鋼面 | SOP | A種 | 見え掛り：A種<br>見え隠れ：B種 |
| | DP | C種及びD種 | 見え掛り：A種 |
| | EP-G | ※B種　・A種 | 表18.3.4<br>見え隠れ：B種 |
| 亜鉛めっき鋼面 | SOP | ※A種　・B種 | 鋼製建具等：A種<br>上記以外　：B種 |
| | DP | B種 | 表18.3.6 |
| | EP-G | C種 | 鋼製建具等：A種<br>上記以外　：B種 |

・塗装　(18.4.1～18.12.2)

| 塗装 | | 種別 | 塗料の種類 | 高日射反射率塗料の適用 G |
|---|---|---|---|---|
| ☉合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) | 木部屋外 | ※A種　・B種 | － | － |
| | 木部屋内 | ※B種　・A種 | | － |
| | 鉄鋼面 | ※B種　・A種 | | ・適用する |
| | 亜鉛めっき鋼面 | － | | ・適用する |
| ☉クリヤラッカー塗り(CL) | | ※B種　・A種 | － | － |
| ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) | | ※B種　・A種 | － | － |
| ・耐候性塗料塗り(DP) | 鉄鋼面 | － | 上塗り塗料の等級(　)級 | ・適用する |
| | 亜鉛めっき鋼面 | － | 上塗り塗料の等級(　)級 | － |
| | ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面 | ・A種　・B種<br>・C種 | － | － |
| ・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) | ｺﾝｸﾘｰﾄ面<br>モルタル面<br>プラスター面<br>せっこうボード面<br>その他ボード面等 | ※B種　・A種 | － | － |
| | 屋内の木部<br>鉄鋼面<br>亜鉛めっき鋼面 | ※B種　・A種 | － | － |
| ・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) | | | | |
| ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) | | ※B種　・A種 | － | － |
| ・ステイン塗り | | ・ピグメントステイン塗り<br>・オイルステイン塗り(OS) | － | － |
| ・木材保護塗料塗り(WP) | | ※B種　・A種 | － | － |

高日射反射率塗装 G を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする
クリアーラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステン塗りの工程等
・

コンクリート撥水材
☉サンキ化工　サンマテラーインナーカラー、サンマテラーフレア同等品
サンマテラーインナーカラー2回塗布0.2kg/m²乾燥後、サンマテラーフレア2回塗布0.2kg/m²

・接着剤　(19.2.2)

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による　・

・下地の工法　(19.2.3)

標準仕様書19.2.3(7)～(9)以外の下地の工法
・図示による　・

・ビニル床シート G　(19.2.2、3)

| 種類の記号 | 色柄 | 厚さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|
| ※FS（複層ビニル床シート）<br>・ | ・無地<br>・マーブル柄<br>・柄物 | ※2.0<br>・ | |

接合部の処理
※熱溶接工法　・

・ビニル床タイル G　(19.2.2)

| 種類の記号 | 色柄 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ※KT（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）<br>・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）<br>・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）<br>・FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）<br>・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） | ・無地<br>・柄物 | ・300×300<br>・450×450<br>・500×500<br>・ | ※2.0<br>・2.5<br>・3.0<br>・ | |

・特殊機能床　(19.2.2)

・帯電防止床シート
種類　（　）
性能　（　）
厚さ　（　mm）
・帯電防止床タイル
種類　（　）
性能　（　）
寸法（㎜）（　×　）
厚さ（㎜）（　）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
種類　（　）
形状　（　）
・耐動荷重性床シート
種類　（　）
厚さ　（　mm）
・防滑性床シート
種類　（　）
厚さ　（　mm）
・防滑性床タイル
種類　（　）
寸法（㎜）（　×　）
厚さ（㎜）（　）

・ビニル幅木　(19.2.2)

材質の種類　・軟質　・硬質
高さ(mm) ※60　・75　・100
厚さ(mm)　※1.5以上　・

・ゴム床タイル　(19.2.2)

種類　・単層品　・複層品
色柄　（　）
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　）

・カーペット敷き G　(19.3.3、3)(表 19.3.1)(表19.3.2)

・織じゅうたん

| 織り方 | パイル形状 |
|---|---|
| ・ウィルトンカーペット | ・カットパイル |
| ・ダブルフェースカーペット | ・ループパイル |
| ・アキスミンスターカーペット | ・カット/ループパイル |

色柄　※模様のない無地　・
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
・
帯電性　・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm

・タフテッドカーペット

| パイル形状 | ﾊﾟｲﾙ長さ（mm） | 工法 | 帯電性 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・カットパイル | ・5～7　・ | ※全面接着工法 | ・適用する | |
| ・ループパイル | ・4～6　・ | ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法 | ・適用しない | |
| ・カット、ループ併用 | ・ | | | |

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・タイルカーペット

| パイル形状 | 種別 | 施工箇所 | 寸法（mm） | 総厚さ（mm） | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※ループパイル | ※第一種<br>・第二種 | | ※500×500<br>・ | ※6.5<br>・ | |
| ・カットパイル | ・第一種<br>・第二種 | | ※500×500<br>・ | ※6.5<br>・ | |
| ・カット・ループ併用 | ・第一種<br>・第二種 | | ※500×500<br>・ | ※6.5<br>・ | |

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
タイルカーペットの敷き方　平　場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物
材質　（　）
種類　（　）
形状等　※図示による　・

・合成樹脂塗床　(19.4.2、3) (表 19.4.4、5)

| 種別 | 施工箇所 | 工法 | 仕上げの種類 |
|---|---|---|---|
| ・厚膜型塗床材<br>弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材 | | | ※平滑仕上げ<br>・防滑仕上げ<br>・つや消し仕上げ |
| ・厚膜型塗床材<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材 | | ・薄膜流し展べ工法<br>・厚膜流し展べ工法<br>・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法 | ・平滑仕上げ<br>・防滑仕上げ |
| ・薄膜型塗床材 | | | ※平滑仕上げ |

塗床材のホルムルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・フローリング張り G　(19.5.2～5)(表 19.5.1～6)

フローリングのホルムアルデヒド放散量等
標準仕様書19.5.2(2)による
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
・単層フローリング　(フローリングボード１等)
工法　・釘留め工法（　・根太張り　・直張り）
・接着工法
樹種　※なら　・
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない
・単層フローリング　(フローリングブロック1等)
樹種　・
厚さ（㎜）　・
大きさ　・
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない
・複合フローリング
工法　・釘留め工法（　・根太張り　・直張り）
・接着工法
樹種　※なら　・
種別　・A種　・B種　・C種
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない
接着工法の場合の不陸緩衝材
※合成樹脂発泡シート

・畳敷き　(19.6.2)(表 19.6.1)

種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N）
下地の種類　・標準仕様書　表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン　） G
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：・C1　C2）

・せっこうボード、その他のボード及び合板張り　(19.7.2、3)(表 19.7.1)

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

| 種類等 | 厚さ(mm)、規格等 |
|---|---|
| 木質系セメント板 G | |
| ・木毛セメント板<br>・硬質(HW)・中質(MW)・普通(NW) | ※図示による　・15　20　・25 |
| ・木片セメント板<br>・硬質(HF)　・普通(NF) | ※図示による　・12　・15　・18　・21　・30 |
| 繊維強化セメント板 | |
| ・けい酸カルシウム板（タイプ2）<br>・普通ボード　0.8FK | ※図示による　・6　・8 |
| ・火山性ガラス質複層板 | |
| ・火山性ガラス質複層板<br>・種類　※図示による　・ | ※図示による　・ |
| ・繊維板 G | |
| ・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ（MDF） | ※図示による　・3　・7　・19　・12　・ |
| ・ハードボード<br>・スタンダードボード（無処理）<br>・素地ハードボード<br>・未研磨（RN）<br>・研磨板（RS）<br>・内装用化粧ハードボード（DI）<br>・テンパードボード（処理）<br>・素地ハードボード<br>・未研磨（RN）<br>・研磨板（RS）<br>・外装用化粧ハードボード（DE） | ※図示による　・2.5　・3.5　・5　・7　・ |
| ・インシュレーションボード<br>・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝ（A-IB）<br>・天井仕上げ材<br>・内装仕上げ材 | ※図示による　・9　・12　・15　・18 |
| パーティクルボード G | |
| ・単板張りパーティクルボード<br>・無研磨板（VN）<br>・研磨板（DC） | ※図示による　・10　・12　・15　・18　・ |
| ・化粧パーティクルボード<br>・単板オーバーレイ（DV）<br>・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DD）<br>・塗装（DC） | ※図示による　・10（難燃）　・12（難燃）　・ |
| 吸音材料 | |
| ・ロックウール化粧吸音板（DR）<br>・フラットタイプ<br>・凹凸タイプ | ・9（不燃）　・12（不燃）<br>・12（不燃）　・15（不燃） |
| ・ロックウール吸音ボード（1号） | ・図示による　・25　・ |
| ・グラスウール吸音ボード（32K） | ・25 (ﾊﾞﾗｽﾀｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ包)　・ |
| せっこうボード | |
| ・せっこうボード（GB-R） | ※ 12.5（不燃）　・15（不燃）　・ |
| ・シーシングせっこうボード（GR-S） | ・12.5（・不燃　・準不燃） |
| ・強化せっこうボード（GB-F） | ・12.5（不燃）　・15（不燃） |
| ・化粧せっこうボード（GB-D） | ・木目　12.5（不燃）幅 440mm 程度<br>模様（・桜目　・板目）専用下地材有り<br>・ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様　9.5 (準不燃) |
| ・せっこうラスボード(GB-L) | ・9.5 |
| ・不燃積層せっこうボード（GB-NC）<br>・化粧無し（下地張り用）<br>・化粧有り（トラバーチン模様） | ・9.5（不燃） |
| 合板類 | |
| ・普通合板 G<br>表板の樹種名：<br>板面の品質：<br>防虫処理　・行う　・行わない | ※図示による<br>・ |
| ・天然木化粧合板 G<br>化粧板の樹種名：<br>防虫処理　・行う　・行わない | ※図示による<br>・ |
| ・特殊加工化粧合板 G<br>化粧加工の方法<br>・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾟﾘﾝﾄ・塗装　・<br>表面性能　・<br>防虫処理　・行う　・行わない | ※図示による<br>・ |

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による　・
合板類の張付け　・A種　・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248－４ | | | 図面名称 | 妙高VC庇 特記仕様書５ | |
| 発注機関 | 中部環境局　信越自然環境事務所 | | | 縮　尺 | － | |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | | | 図面番号 | A05 | |
| 検　査 | | | | 設計者 | 名　称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | | | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | | | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | | | | 所 在 地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

・壁紙張り

(19.8.2、3)

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外
※F☆☆☆☆　・

| 施工箇所 | 壁紙の種類 | | | | | | 防火性能 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 紙 | 繊維 | 塩化ビニル | プラスチック | 無機質 | その他 | | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃　・準不燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃　・準不燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃　・準不燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃　・準不燃 | |

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種
せっこうボード面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種

・断熱材 G

(19.9.2～4)

フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

開口部等補修のための張付け用のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・断熱材打込み工法

| 種類 | 厚さ(mm) | 施工箇所 |
|---|---|---|
| ・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材（・　　） | ・ | |
| 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）（・2種bA　・3種bA　・3種bC　・3種bD） | ・ | |
| ・硬質ウレタンフォーム断熱材 | ・ | |
| ・フェノールフォーム断熱材 | ・ | |
| | | |

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・A種1　・A種1H　・
吹き付け厚さ（mm）　・
施工箇所　・図示による　・
（品質・性能・試験方法は別表による）

20 ユニット及びその他の工事

・フリーアクセスフロア

(20.2.2)

| 施工箇所 | 構法 | 寸法(mm) | 高さ(mm) | 耐震性能 | 所定荷重 | 表面仕上材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・置敷式<br>・支柱調整式 | ・500×500<br>・ | | ・1.0G<br>・0.6G | ・3,000N<br>・5,000N | ・帯電防止床タイル<br>・タイルカーペット<br>・ | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度
（　　）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度
（　　）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
（　　）
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上
・評価値（U）≧1.2以上
寸法精度
・評価値（R）≧1×10 Ω$^6$
（品質・性能、試験方法は別表による）

・可動間仕切

(20.2.3)

| 構造形式による種類 | 構成基材の種類 | | パネル表面仕上げ | 遮音性(db/500Hz) | 防火性能 |
|---|---|---|---|---|---|
| | スタッド | パネル | | | |
| ・スタッド式(内蔵)<br>・スタッド式(露出)<br>・スタッドパネル式<br>・パネル式 | | | ・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付<br>・壁紙張り<br>・ | ・0<br>・12<br>・20<br>・28<br>・36 | ・不燃 |

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示による　・　　）・なし
パネル内に取付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆　・

・移動間仕切

(20.2.4)

| 走行方向 | 操作方法による種類 | 圧縮装置の操作方法 | 総厚さ(mm) | パネル表面仕上材 | | 遮音性(db/500Hz) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 材質 | 仕上げ | |
| ・平行方向 移動式<br>・二方向 移動式 | ・手動式<br>・電動式<br>・部分電動式 | ・プッシュ式<br>・ハンドル式<br>・ | | ・鋼板<br>・ | ・焼付塗装<br>・壁紙張り<br>・ | ・36未満<br>・36以上 |

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による
パネルをランナに取り付ける部品
※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの

ハンガーレール及びランナ
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

（品質・性能は別表による）

・トイレブース

(20.2.5)

| 表面材の種類 | 脚部 | ドアエッジ |
|---|---|---|
| | 種類 | 材質 |
| ・メラミン樹脂系化粧板<br>・ポリエステル樹脂系化粧板<br>・スチール | ※幅木タイプ<br>・ | ※製造所の仕様による<br>・アルミニウム製<br>・ステンレス製 |

（品質・性能、試験方法は別表による）

⊙ 手すり

(20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
・SUS304　表面処理　※HL程度　⊙図示
・鋼製　表面処理　溶解亜鉛めっき（※標準仕様書表14.2.2による種別（　　）種）
・アルミニウム　表面処理　（※標準仕様書表14.2.1による種別（　　）種）
色合い　・標準色（　　）　・特注色（　　）

手すりの握り部分

| 材種 | 表面仕上げ | 直径(mm) | 取付箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・集成材<br>⊙図示<br>（材種：　　） | ・クリアラッカー<br>⊙図示 | ・35程度<br>・45程度<br>⊙図示 | | |
| ・ビニル製 | | ・35程度<br>・45程度<br>・ | | |

・階段滑り止め

(20.2.7)

材種　（・ステンレス製　・黄銅製押出型材　・アルミニウム製押出型材　・　　）
形状　※タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂等）　・タイヤレス型
端部の形状　・端部フラットエンド（・あり　・なし）
寸法（幅）　・35㎜程度　・40㎜手度　・50㎜程度
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法

・黒板及び
ホワイトボード G

(20.2.9)

・黒板
区分　・　※焼き付け
種類　・　・鋼製黒板　・ほうろう黒板　・
色　・　※緑
・ホワイトボード

・鏡

(20.2.10)

取付箇所　（男子WC、女子WC、他目的WC）
寸法（mm）　・図示による　・
厚さ（mm）　※5　⊙図示による

・表示

(20.2.11)

衝突防止表示
・設置する（設置場所：※図示による　・　　）
形状・寸法　（・30φ　・　　）
材質　（・ステンレス製　・　　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等（案内用図記号はJIS Z 8210による）
※図示による

・タラップ

(20.2.12)

材質及び仕上げ
・SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし　）
・鋼製　表面処理　溶解亜鉛めっき（※標準仕様書表14.2.2による種別（※C種　・　種）

・煙突ライニング

(20.2.13)

適用安全使用温度　・
工法　※鋼製ユニット煙突（煙突用形成ライニング材）　・

・ブラインド

(20.2.14)

| 形式 | 操作方法 | 操作方法の種類 | スラットの種類 | スラット幅 | ボックス・レールの材種 | 幅・高さ取付箇所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・横型 | ・手動 | ※ギヤ式<br>・コード式<br>・操作棒式 | ※アルミニウム合金製　G<br>・ | ※25<br>・ | ※鋼製<br>・ | ・図示による<br>・ |
| | ・電動 | ― | | | | |
| ・縦型 | ・手動 | ※2本操作コード式<br>・1本操作コード式 | ・アルミスラット<br>・クロススラット | ・80<br>・100 | アルミニウム合金製 | ・図示による<br>・ |
| | ・電動 | ― | | | | |

縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G　とする。

・ロールスクリーン G

(20.2.15)

| 操作方法 | スクリーンの材質 | その他の材料 | 幅・高さ取付箇所 | 品質等 |
|---|---|---|---|---|
| ・スプリング式<br>・コード式<br>・電動式 | ・ガラス繊維製<br>・合成、天然繊維製<br>・木製 | ※製造所の仕様 | ・図示による<br>・ | ・ |

スクリーンの仕様
消防法で定める防火性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

・カーテン

(20.2.16)

| 形式 | | 開閉操作 | ひだの種類 | 生地の種別、品質、特殊加工等 | 取付箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・シングル<br>・ダブル | ・片引き<br>・引分け | ・手引き<br>・ひも引き<br>・電動 | ・フランスひだ<br>・箱ひだ、つまひだ<br>・プレーンひだ、片ひだ | | ・図示による<br>・ | |
| | | | | | | |

生地の仕様
消防法で定める防火性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

・カーテンレール

(20.2.16)

材料による区分
※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

・ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝型×深さ（mm）　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　・図示による
材質　・集成材（仕上げ：　　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
標準仕様書表14.2.1　・BC-1種　・BC-2種　・
色合い　・標準色（　　）　・特注色（　　）
・鋼製（仕上げ：　　）

⊙ 天井点検口

| 材種 | 寸法 | 形式 | | 外枠 | 内枠 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※アルミニウム製<br>・ | ⊙450×450<br>・600×600<br>・ | ⊙一般形 | ⊙屋内外用<br>・屋内用 | ・額縁タイプ<br>⊙目地タイプ | ・額縁タイプ<br>⊙目地タイプ |
| | | ・気密形 | | | |

（品質・性能、試験方法は別表による）

・床点検口

| 材種 | 寸法 | 形式 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・アルミニウム製<br>・ステンレス製 | ・450×450<br>・600×600 | ・一般形<br>・密閉形 | ・屋内外用<br>・屋内用 | ・鍵付き |

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする
（品質・性能、試験方法は別表による）

・耐震スリット

| 方向 | 幅（㎜） | タイプ | 耐火性能 | 防水性能 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・垂直 | ・25<br>・ | ※完全（全貫通型）<br>・ | ・耐火型<br>・非耐火型 | ・有り<br>・無し | |
| ・水平 | ・25<br>・ | | | | |

目地

| 目地 | 内壁 | 外壁 |
|---|---|---|
| 目地材 | ・シーリング材(見え掛かり部のみ)<br>・ | ・シーリング材(見え掛かり部のみ)<br>・シーリング材（内外とも） |
| 目地寸法（mm） | ・スリット幅×深さ10<br>・ | ・スリット幅×深さ10<br>・ |

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

・止水板

形式　・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所　・図示による

・エキスパンションジョイント金物

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

・くつふきマット

| 材種 | 受け枠 | 備考 |
|---|---|---|
| ・塩化ビニル又はゴム製<br>・硬質アルミニウム合金製<br>・ステンレス鋼（SUS304)製<br>・ | ・ステンレス鋼（SUS304）<br>・硬質アルミニウム合金<br>・ | |

・流し台ユニット

| 材種 | 寸法(mm) | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| | W | D | H | |
| ・流し台 | ・1200<br>・1500<br>・1800 | ・550<br>・600<br>・650 | ・800<br>・850 | 市販品<br>トラップ付き<br>天板ステンレス製 |
| ・コンロ台 | ・600 | ・550<br>・600<br>・650 | ・620<br>・670 | 市販品<br>バックガード有り<br>天板ステンレス製 |
| ・つり戸棚 | ・1200<br>・900 | ・450 | ・500<br>・700 | 市販品 |
| ・水切り | ・1200<br>・900<br>・600 | - | - | 市販品<br>ステンレス製<br>・1段式　・ |

品質・性能
外観は、JIS A 4420（キッチン設備の構成材）の4.1による
構成材は、JIS A 4420により試験を行ったとき、表1の規定による
形状　※図示による　・

・旗竿

| 材種 | 形式 | 高さ(mm) | 操作方法 | 固定方法 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・アルミニウム合金製<br>・ | ・テーパー式<br>・同一断面式 | | ・ハンドル式<br>・ロープ式 | ・埋込式<br>・ベース式<br>・バンド式 | |

・旗竿受金物

材種　・ステンレス製(SUS 304)　・

・車止めさく

| 形式 | | 材種 | 柱径、肉厚(mm) | 高さ(mm) |
|---|---|---|---|---|
| ・上下式鎖内蔵式 | ・標準品<br>・スプリング式 | ・ステンレス製<br>・ | ・ | ・ |
| ・ | | | | |

・フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ　・図示による　・

・プレキャストコンクリート

(20.3.3、4)

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m$^2$を満足する調合強度
・図示による
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
・図示による
取付け方法
※図示による

・間知石及びコンクリート間知ブロック積み

(20.4.2、3)

| | 材種 | 種類 | 質量区分 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・間知石 | ・花こう岩<br>・凝灰岩 | ― | ― | |
| ・コンクリート間知ブロック | ― | | ・A<br>・B | |

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示による　・
伸縮調整目地　材種　・図示による　・
厚さ　・図示による　・

・鋼製書架及び物品棚

| 種類 | 規格等 | JISによる種類 |
|---|---|---|
| ・鋼製書架<br>・鋼製物品棚 | JIS S 1039 の規格による | ・1種　・2種　・3種<br>・4種　・5種　・6種 |

・屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

・洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　⊙人工大理石
奥行き(mm)　・約 450　・約 600

・防煙垂れ壁

・固定式

| 材質 | 厚さ(mm) | 高さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|
| ※網入り磨板ガラス<br>・線入り磨板ガラス | ※6.8<br>・ | ※500<br>・ | アルミ製枠付き |

・可動式

| 種類 | 材質 | 高さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|
| ・垂直降下式（巻取り型） | ※不燃布（不燃認定品） | ※500<br>・800<br>・ | ガイドレール<br>※固定式（壁埋込型）<br>・可動式（天井収納型） |
| ・回転降下式 | 鋼板製又はアルミ製 | ※500<br>・800<br>・ | 表面仕上げ<br>※天井材張り |

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

・屋外掲示板

照明器具　※有り　・　無し
施錠　※有り　・　無し
製造所　・

・収納家具

合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
材質、形状、寸法　※図示による　・

21 排水工事

・屋外雨水排水

材料

(21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

| 材種 | 種類・記号 | 形状 | 呼び径 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・遠心力鉄筋コンクリート管 | ※外圧管（1種） | ・B形管<br>・ | ※図示による<br>・ | |
| ・硬質ポリ塩化ビニル管 | ・RF-VP G | | ※図示による　・ | |
| | ・RS-VU G | | ※図示による　・ | |
| | ・VP | | ※図示による　・ | |
| | ・VU | | ※図示による　・ | |

基床の厚さ及び種類　・図示による　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・
側塊の形状及び寸法　・図示による　・
排水桝の種類　・図示による　・
砂地業に用いる材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度（N/㎜2）　※18　・
・スランプ（㎝）　※15又は18　・
・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295　・
・排水桝が現場打ちの場合の足掛け金物
※標準仕様書21.2.2(6)(オ)
材質　・ステンレス製　・鋼製　・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料　・
（砂を用いる場合の粒度試験）　・行う
・行わない

・鋳鉄製ふた

(21.2.1)

| 名称 | 種類 | 適用荷重 | 鍵 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 鋳鉄製マンホールふた | ・水封形<br>・簡易密閉形（パッキン式）<br>・密閉形（テーパ・パッキン式）<br>・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） | ・T-2用<br>・T-6用<br>・T-20用 | ・有り<br>・無し | 左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による |

⊙ グレーチング

(21.2.1)

| 材質 | 形式 | 用途 | 適用荷重 | メインバーピッチ | 亜鉛 めっき(付着量) | 上面形状 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・鋼製 | ・受枠付き、ボルト固定<br>・ | ・溝ふた（横断用）<br>・溝ふた（側溝用）<br>・桝ふた用<br>・U字溝用 | ・歩行用 | ・細目<br>・ | ・（　　） | ・凹凸形<br>・ |
| | | | ・T-2用<br>・T-6用<br>・T-14用<br>・T-20用 | ・普通目<br>・細目 | ・（　　） | ・平形<br>・ |
| ⊙ステンレス製 | ⊙受枠付き、ボルト固定<br>・ | ⊙溝ふた（横断用）<br>⊙溝ふた（側溝用）<br>⊙桝ふた用<br>⊙U字溝用 | ・歩行用 | ・ | ― | ・凹凸形<br>・ |
| | | | ・T-2用<br>・T-6用<br>⊙T-14用<br>・T-20用 | ・ | ― | ・平形<br>・ |

（品質・性能、試験方法は別表による）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248－4 | 図面名称 | 妙高VC庇 特記仕様書6 |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | 縮尺 | ― |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | 図面番号 | A06 |
| 検査 | | 設計者 名称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | 登録番号 | 一級建築士大臣登録 第122854号 |
| | | 所在地 | 一級建築士事務所東京都知事登録 第36591号 |

・ 街きょ、縁石及び側溝

(21.3.1、2)(表21.3.1)

街きょ、縁石、側溝

| 種類 | 形状、寸法 |
|---|---|
| ・縁石 | ・図示による　・ |
| ・L形側溝 | ・図示による　・ |
| ・U形側溝 | ・図示による　・ |
| ・U形側溝ふた | ・図示による　・ |
| ・ | ・図示による　・ |

砂地業に用いる材料
　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
　・再生クラッシャラン:G　・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ(mm)　※100　・図示による
　・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度（N/mm2）　※18　・
　・スランプ（cm）　※15又は18　・
　・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295　・
凍上抑制層に用いる材料　・
(砂を用いる場合の粒度試験)　・行う
　・行わない

・ 埋戻し土

(21.2.1)

※B種　・

22 舗装工事

・ 路床

(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

路床の材料

| 種別 | 材料 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|
| ・盛土 | ・A種　・B種　・C種　・D種<br>・建設汚泥から再生した処理土:G | ・図示による<br>・ |
| ・凍上抑制層 | ・再生クラッシャラン:G　・クラッシャラン<br>・切込み砂利　・砂 | ・図示による<br>・ |
| ・フィルター層 | 標準仕様書22.2.3.(3)による | ・図示による<br>・ |

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)
・行う
・行わない
・路床安定処理
安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号）　・消石灰（・特号　・1号）
添加量　・　kg/m3（CBR　・3以上　・　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/m2以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10 cm/sec以上　・
試験
路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
現場CBR試験　・行う　・行わない

⊙ 路盤

(22.3.2、3)(表 22.3.1)

路盤の厚さ　⊙図示による　・
路盤材料（標準仕様書表22.3.1による種別）
⊙クラッシャラン
・粒度調整砕石
⊙再生クラッシャラン G
・再生粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・粒度調整鉄鋼スラグ G
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

⊙ アスファルト舗装

(22.4.2～6)(表 22.4.4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示による　・
材料
アスファルト　・再生アスファルト G
（標準仕様書表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
・ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
加熱アスファルト混合物等の種類
・密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13Ｆ)
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・
試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

⊙ コンクリート舗装

(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

コンクリート舗装の構成及び厚さ

| 舗装の種類 | 部位 | 構成 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|---|
| コンクリート舗装 | 車路及び駐車場 | ⊙図示による | ・図示による　・ |
| | 歩行者用通路 | ⊙図示による | ※70　・ |

材料
コンクリート
※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
・以下による
コンクリートの種類（　）
設計基準強度（N/mm2）（　）
所定のスランプ（cm）（※8　・　）
粗骨材の最大寸法（mm）（　）
早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による
・以下による
種類　・
間隔　・（　）m程度ごと
構造　・図示による
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

⊙ カラー舗装

(22.6.2～4)

⊙加熱系カラー舗装
構成・厚さ　⊙図示による　・
加熱系混合物の結合材
⊙アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　%）
添加剤
着色骨材（　）
自然石　（　）
・常温系カラー舗装
工法　・ニート工法（配合その他：　）・塗布工法（配合その他：　）
着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装　・
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

・ 透水性アスファルト舗装

(22.7.2、3、6)

舗装の構成
・図示による　・
材料
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材:G
（標準仕様書表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
舗装の平坦性　※著しい不陸がないもの
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

・ ブロック系舗装

(22.8.2、3)

・コンクリート平板舗装:G

| 種類 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 目地材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ※普通平板(N)<br>・透水平板(P)<br>・保水性平板(M) | ・300角<br>・ | ※60<br>・ | ※砂<br>・ﾓﾙﾀﾙ | 表面加工<br>・研ぎ出し<br>・洗い出し<br>・たたき出し |

クッション材　※砂　・空練りモルタル
普通平板は:G(再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は　(G透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平たん性　・
※歩行に支障となる段差がないものとし、歩石間の段差は3mm以内とする

・ インターロッキングブロック舗装 :G

| 種類 | 部位 | 形状寸法 | 厚さ(mm) | 曲げ強度(N/mm2) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※普通ブロック（N）<br>・透水性ブロック（P）<br>・保水性ブロック（M） | 車路 | ・図示による<br>・ | ※80<br>・ | ※5.0<br>・ | 表面加工 |
| ※普通ブロック（N）<br>・透水性ブロック（P）<br>・保水性ブロック（M） | 歩行者用通路 | ・図示による<br>・ | ※60<br>・ | ※3.0<br>・ | |

クッション材　※砂　・空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは:G (再生材料を用いた舗装用ブロック)、
透水性ブロックは:G(透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする

・ 舗石舗装

| 種類 | 形状・寸法(mm) | 厚さ(mm) | 張り方 | 基層 | 基層の厚さ(mm) |
|---|---|---|---|---|---|
| ・花こう岩<br>・ | ・割石<br>・図示による<br>・ | ・ | ・ | ・ｺﾝｸﾘｰﾄ平板 | ※70<br>・ |
| | | | | ・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 | ※50<br>・ |

クッション材　※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする

・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/m2以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数　・1.5×10 cm/sec以上　・

・ 砂利敷き

(22.9.2)

種別
・A種（施工範囲：・図示による　・通路　・　）
・B種（施工範囲：・図示による　・建物周囲その他　・　）

・ 路面標示用塗料

路面標示用塗料はJIS K 5665による

| 種類 | 施工 | 適用 | 色 | 幅(mm) | 塗布厚さ(mm) |
|---|---|---|---|---|---|
| ※3種1号 | 融解 | 粉体状 | ・白<br>・ | ・150<br>・100 | ・1.0<br>・ |
| ・1種:G | 常温 | 液状 | | | |
| ・2種:G | 加熱 | | | | |

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料:G

23 植栽及び屋上緑化工事

・ 植栽地の確認等

(23.1.3)

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　・行わない
電気伝導度（EC）の試験　・行う　・行わない

・ 植栽基盤の整備

(23.2.2、4)

樹木の植栽基盤の整備
・適用する　・適用しない

| 植栽 | 工法 | 有効土層の厚さ（cm） | 整備範囲 | 土壌改良材 |
|---|---|---|---|---|
| ・樹木 | ※A種<br>・B種<br>・C種<br>・D種 | 樹高12m以上<br>（※100　・120　・150）<br>樹高7m以上～12m未満<br>（※80　・100）<br>樹高3m以上～7m未満<br>（※60　・80）<br>樹高3m未満<br>（※50　・60） | ・葉張り部分<br>・植栽部分<br>・図示による<br>・ | ・適用する<br>・適用しない |
| ※芝、地被類 | ※B種<br>・ | ※20<br>・ | ・植栽部分<br>・図示による<br>・ | ・適用する<br>・適用しない |

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示による　・　）　・設けない

・ 植込み用土

(23.2.3)

・現場発生土の良質土　・客土

・ 土壌改良材

(23.2.3)

種別及び指定数量等
・パーク堆肥 :G
施工箇所　※植栽範囲　・図示による
使用量　植栽基盤面積1m2あたり　（・50L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）:G
施工箇所　※植栽範囲　・図示による
使用量　植栽基盤面積1m2あたり　（・10L　・　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

・ 樹木

(23.3.2)

樹種、寸法、株立数等　※図示による　・

・ 支柱

(23.3.2、3)

支柱材　※ 丸太（間伐材）:G　・真竹　・
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　・図示による　・

・ 幹巻き用材料

材料
※幹巻き用テープ　・わら及びこも

・ 芝

(23.4.2、3)

種類　※ コウライシバ　・ノシバ　・
芝張りの工法
平地　※目地張り　・べた張り
法面　※べた張り法面　・目地張り

・ 吹付けは種

(23.4.2)

| 種子の種類 | 発芽率 | 種子の量（g/m2） | 備考 |
|---|---|---|---|
| ※洋芝類（採取後2年以内） | ※発芽率80%以上 | | |
| ・ | ・ | | |

・ 地被類

(23.4.2)

| 樹種 | コンテナ径 | 単位面積当たりのコンテナ数 | 芽立数 |
|---|---|---|---|
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | | |

・ 新植、芝等の枯保証、移植樹木の枯損処置

(23.3.4、6) (23.4.7)（23.5.5）
新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年　・無し　・

・ 屋上緑化 G

(23.5.2～4)

植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示による　・
排水層　・軽量骨材（層の厚さ　：　）　・板状成型品
植込み用土　※改良土　・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等　※図示による　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示による　・

（品質・性能・試験方法）
支柱
・設置する
・設置しない
形式
・図示による

かん水装置
・図示による

工法
「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成12年5月31日　建設省告示第1458号）に基づく風圧力に対した工法」
・図示による

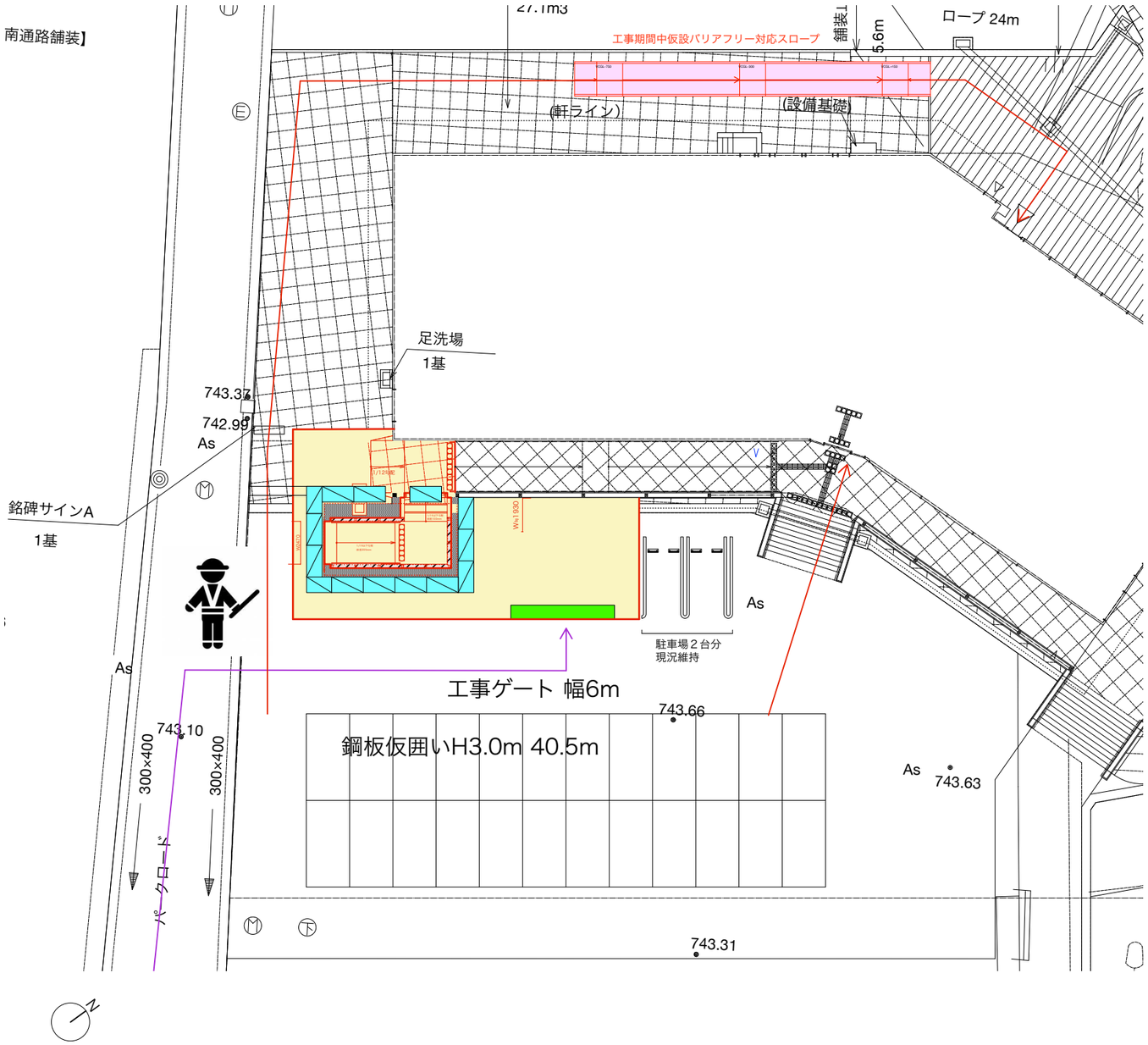
| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−４ | | | | 図面名称 | 妙高VC庇 特記仕様書７ |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | | | | 縮　尺 | ー |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | | | | 図面番号 | A07 |
| 検　査 | | | | | 設計者 | 名　称 (有)金箱構造設計事務所 |
| | | | | | | 資格者氏名 金箱 温春 |
| | | | | | | 登録番号 一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | | | | | 所 在 地 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

| 工事内容 | 建築 | 外構 | 電気 | 空衛 | | 別途 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 建築主体工事 | 外構植栽工事 | 電気設備工事 | 空調給排水衛生設備工事 | | | |
| A 一般事項 | | | | | | | |
| 1 工事用電力・上下水・ガス・電話等 | | | | | | | |
| 1 工事用仮設電力・上下水・ガス・電話等の確保、および基本料金、従量料金 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 2 電力・上下水・ガス・電話・CATV・ネットワークインフラ等 引込負担金 | | | | | | ○ | 本設引込分 |
| 3 本設引込後 工事期間中の電力・上下水・ガス・電話等の基本料金 | ○ | | | | | | |
| 4 本設引込後 工事期間中の電力・上下水・ガス・電話等の従量料金 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 5 工事期間中の本設電力設備の管理および維持 | | | ○ | | | | 詳細は電気主任技術者と協議 |
| | | | | | | | |
| 2 共通仮設 | | | | | | | |
| 1 据付工事等に対する仮設足場等 | ○ | | | | | | |
| 2 通り芯等現場基本墨出し | ○ | | | | | | |
| 3 現場内工事用仮設電源 | ○ | | | | | | |
| 4 各種据付工事に関する現場内搬入経路の確保 | ○ | | | | | | |
| 5 同上 経路の養生 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 6 現場内資材置場の確保 | ○ | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 3 その他 | | | | | | | |
| 1 官公庁への各種申請・届出 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | | | | | 申請料含む |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| B 躯体 | | | | | | | |
| 1 躯体・基礎 | | | | | | | |
| 1 設備スペース等の躯体および仕上げ | | | | | | | |
| 2 大型設備（重荷重）機器コンクリート基礎 | | | | | | | 床面の防塵塗装仕上げ含む |
| 3 同上 架台 | | | | | | | |
| 4 一般設備（軽荷重）機器のコンクリート基礎 | | | | | | | |
| 5 屋上・屋外における設備機器コンクリート基礎 | | | | | | | |
| 6 同上 架台 | | | | | | | |
| 7 同上 防水仕上げおよびその他防水部分との取合い | | | | | | | |
| 8 設備機器設置に対する構造体補強 | | | | | | | |
| 9 設備機器設置用アンカーボルトの構造体緊結（箱入れ、モルタル埋戻等） | | | | | | | |
| 10 コンクリートダクト 内部仕上げ、内部雨水排水および清掃 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 2 その他 | | | | | | | |
| 1 床配管ピット、床配線ピット | | | | | | | |
| 2 排水側溝 | ○ | | | | | | |
| 3 煙突および煙導取付用フランジ、灰出口、煙突内雨水排水 | | | | | | | 内部仕上げ、ピット蓋含む |
| | | | | | | | グレーチング蓋含む |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| C 開口・穴明け | | | | | | | |
| 1 構造体 | | | | | | | |
| 1 鉄筋コンクリート構造体（RC）スリーブ取付、箱入れ | | | | | | | |
| 2 同上 構造体補強 | | | | | | | |
| 3 同上 開口部補修、穴埋め | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 2 躯体 | | | | | | | |
| 1 壁・床面埋込設備に対する躯体開口（仮枠および補修） | | ○ | ○ | ○ | | | 打放し部分は建築工事 |
| 2 同上 開口部補強 | ○ | | | | | | |
| 3 同上 開口部補修、穴埋め | ○ | | | | | | |
| 4 外部へ貫通する配管・ダクト用開口および貫通部の防水処置 | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 5 同上 開口における配管・ダクトとの隙間充填、シール処理 | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 6 配管の外壁打込に対するクラック防止補強 | ○ | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 3 その他 | | | | | | | |
| 1 天井取付設備器具（照明、吹出・吸込口等）にともなう天井穴空けおよび開口補強、小口仕上 | ○ | | | | | | |
| 2 同上 位置出し（墨出し）、開口寸法等の指示 | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 3 壁面取付設備器具（照明、吹出・吸込口等）にともなう壁面穴明けおよび開口補強、小口仕上 | ○ | | | | | | |
| 4 同上 位置、開口指示（墨出し） | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 5 防水層貫通に伴う防水処理 | ○ | | | | | | |
| 6 遮音層貫通に伴う遮音処理 | | | | | | | |
| | | | | | | | |

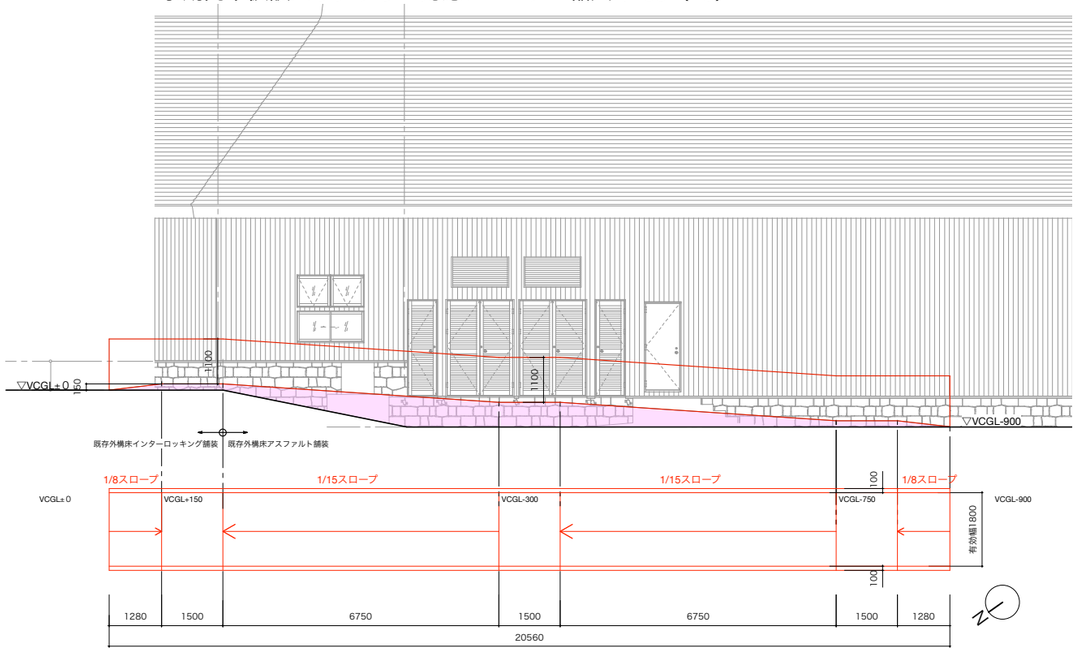
| 工事内容 | 建築 | 外構 | 電気 | 空衛 | | 別途 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 建築主体工事 | 外構植栽工事 | 電気設備工事 | 空調給排水衛生設備工事 | | | |
| D 建築関連 | | | | | | | |
| 1 建具・仕上げ | | | | | | | |
| 1 点検口（天井・壁・床）取付および開口補強 | ○ | | | | | | 設備保守点検用 |
| 2 自動ドア | | | | | | | |
| 3 同上 一次側電源供給 | | | | | | | 接地線含む |
| 4 同上 保守用スイッチ取付および二次側配管配線 | | | | | | | |
| 5 間接照明ボックス | | | | | | | |
| 6 ブラインドボックス、カーテンボックス | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 2 防煙・防火 | | | | | | | |
| 1 自火報・防排煙受信盤への配管配線 | | | | | | | |
| 2 自然換気口 | | | | | | | |
| 3 オペレータおよび制御ワイヤー | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 3 防音遮音 | | | | | | | |
| 1 機械室における防音、遮音処置 | | | | | | | |
| 2 設備機器の騒音対策および騒音振動伝播抑制 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 4 サイン | | | | | | | |
| 1 屋内サイン | | | | | | | |
| 2 屋外サイン | | | | | | | |
| 3 同上 自立サインに対する基礎、ベースパネル埋込 | | | | | | | |
| 4 内照式サイン | | | | | | | |
| 5 同上 電源供給、点滅制御 | | | | | | | |
| 6 外照式サインに対応するスポットライト等の照明器具 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 5 その他 | | | | | | | |
| 1 保守用キャットウォーク、タラップ、手摺、フェンス | | | | | | | |
| 2 床点検口 | | | | | | | |
| 3 厨房機器 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| E 電気設備関連 | | | | | | | |
| 1 エンジンドア1次側配管配線 | | | | | | | |
| 2 エンジンドア2次側配管配線、センサー取り付け | | | | | | | |
| 3 インバータに起因する高調波の障害対策 | | | | | | | |
| 4 弱電総合盤 | | | | | | | |
| 5 弱電総合盤内に収納する各設備の監視装置 | | | | | | | |
| 6 一般照明器具取付け | | | ○ | | | | |
| 7 間接照明ボックス | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| F 空調関係 | | | | | | | |
| 1 ファンコイルユニット | | | | | | | |
| 2 ファンコイルユニット化粧カバー及び化粧吹出口 | | | | | | | |
| 3 天井、壁及び床化粧吹出口、壁吸込口, リタンチャンバー内通気穴開口 | | | | | | | |
| 4 外壁ガラリ、給排気筒ガラリ | | | | | | | |
| 5 扉ガラリ | | | | | | | |
| 6 空調屋内機スイッチ | | | | | | | |
| 7 同上用スイッチボックス | | | | | | | |
| 8 空調屋内機-スイッチ間配線 | | | | | | | |
| 9 同上用配管 | | | | | | | |
| 10 ロスナイスイッチ | | | | | | | |
| 11 同上用スイッチボックス | | | | | | | |
| 12 ロスナイ-スイッチ間配線 | | | | | | | |
| 13 同上用配管 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

| 工事内容 | 建築 | 外構 | 電気 | 空衛 | | 別途 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 建築主体工事 | 外構植栽工事 | 電気設備工事 | 空調給排水衛生設備工事 | | | |
| G 給排水衛生関係 | | | | | | | |
| 1 汚水雑排水屋内配管 | | | | | | | |
| 2 汚水雑排水屋外配管 | | | | | | | |
| 3 屋内排水側溝及び金物 | ○ | | | | | | |
| 4 屋外排水側溝 | | ○ | | | | | |
| 5 排水管取り付け及び目皿、トラップ、グリーストラップ | | | | | | | |
| 6 衛生配管用壁ふかし工事 | | | | | | | |
| 7 洗面カウンター | | | | | | | |
| 8 同上穴開け及びシール | | | | | | | |
| 9 湯沸流し台及び吊戸棚（造作家具） | | | | | | | |
| 10 電気湯沸器 | | | | | | | |
| 11 便所手すり及び折り畳みベビーベッド ベビーキープ | | | | | | | |
| 12 便所化粧鏡 | | | | | | | |
| 13 感知フラッシュバルブ | | | | | | | |
| 14 同上2次側配管配線 | | | | | | | |
| 15 便所紙巻き器 | | | | | | | |
| 16 湧水ポンプ・排水ポンプ 2次側配線 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| H 消火設備 | | | | | | | |
| 1 消火器収納表示 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| I 外構仕上げ | | | | | | | |
| 1 路床および路盤 | | ○ | | | | | |
| 2 基礎コンクリート | | ○ | | | | | |
| 3 舗装、砂利敷き、縁石類、植栽桝ブロック、植栽桝化粧蓋 | | ○ | | | | | |
| 4 柵、各種ベンチ | | | | | | | |
| 5 外部照明取付基壇(照明器具、配管配線は除く) | | | | | | | |
| 6 外部階段、外部自立壁、門扉 | | | | | | | |
| 7 化粧マンホール蓋、ハンドホール蓋（電気・空調給排水衛生設備関連） | | | ○ | ○ | | | |
| 8 外部サイン | | | | | | | |
| 9 外部照明、外部サインへの電源供給 | | | ○ | | | | |
| | | | | | | | |
| 2 雨水排水設備(地上部集水のみ、建築屋根部集水に関する施設は除く) | | | | | | | |
| 1 集水桝・集水側溝および接続桝本体 | | | | | | | |
| 2 グレーチング側溝蓋・桝蓋、充填蓋 | | | | | | | |
| 3 集水桝・集水側溝および接続桝本体 | | | | | | | |
| 4 地上部一次桝又は側溝から地上部集水用雨水貯留槽までの排水管 | | | | | | | |
| 5 最終枡(貯留槽から先のポンプ、排水管、最終桝、本管接続) | | | | | | | |
| 6 最終枡から水路への接続 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 3 排水設備（汚水・雑排水） | | | | | | | |
| 1 建屋内より第一外排水枡への接続配管 | | | | | | | |
| 2 屋外汚水・雑排水排水桝および配管 | | | | | | | |
| 3 最終枡(貯留槽から先のポンプ、排水管、最終桝、本管接続) | | | | | | | |
| 4 最終枡から本管への接続 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 4 植栽(地上部のみ。建築屋根部は除く) | | | | | | | |
| 1 移植、伐採伐根 | | | | | | | |
| 2 植栽基盤(有効土層までの耕うん等) | | | | | | | |
| 3 各種植栽 | | | | | | | |
| 4 客土、酸素管、各種支柱 | | | | | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−4 | 図面名称 | 妙高VC庇 工事区分表 |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | 縮 尺 | − |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | 図面番号 | A08 |
| 検査 | | 設計者 | 名 称 (有)金箱構造設計事務所 |
| | | | 資格者氏名 金箱 温春 |
| | | | 登録番号 一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | | 所 在 地 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |




## 工事期間中仮設バリアフリー対応スロープ　縮尺1/150（A3）




落下防止手すり高さ1100
ハンドレール２段
外部用防滑ビニルシート仕上げ

凡例
- 鋼板 仮囲い範囲
- ガードフェンス 仮囲い範囲
- 工事ゲート
- 仮設足場
- 工事車両動線
- 一般利用者動線
- 交通誘導員

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248－4 | 図面名称 | 妙高VC庇 仮設計画 |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | 縮　尺 | 1／300（A3） |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | 図面番号 | A09 |
| 検　査 | | 設計者 名　称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | 所　在　地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

工事場所　新潟県妙高市関川2248-4
工事種別　増築

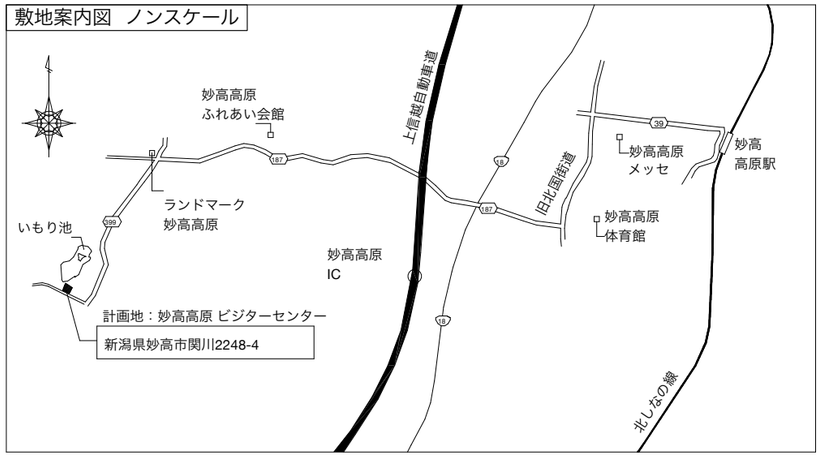
敷地面積　2,969.31㎡
建築面積　計画建物18.23㎡（既存 建築面積：1038.05㎡ ）
　　合計　1,056.28㎡
建ぺい率　36.0%
延べ面積　計画建物0.00㎡（ 既存 延べ面積：840.58㎡）
　　＊十分に外気に開放され、かつ、屋内的用途に供しない部分
　　合計　840.58㎡
容 積 率　28.3%

最高高さ　計画建物 4.65m
構造規模　木造　平屋建
施設用途　屋外通路 雪囲い屋根（その他 08990）

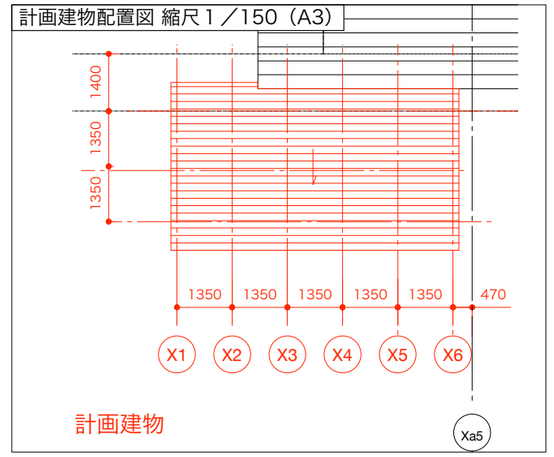
法規制

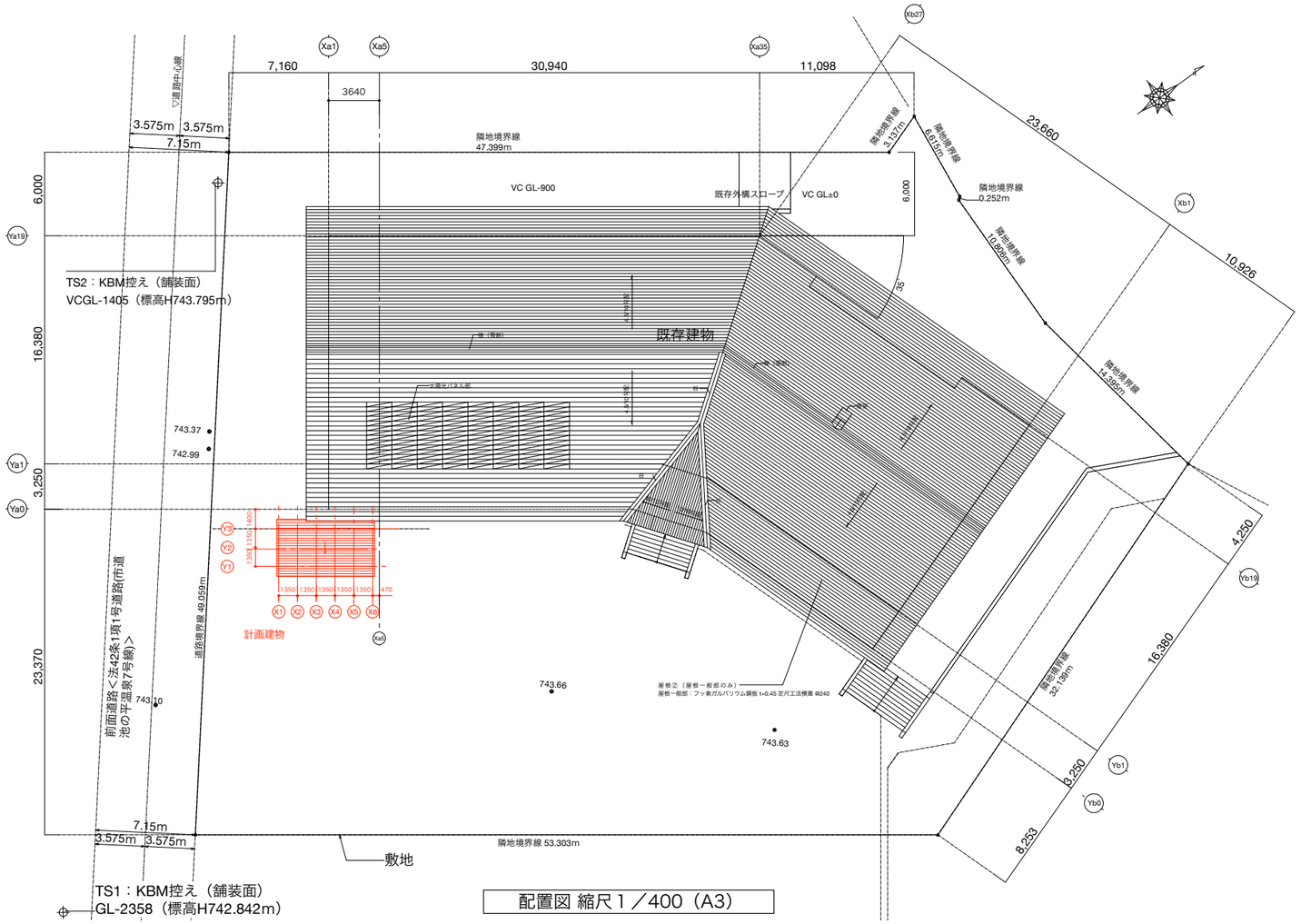
用途地域　都市計画区域外、妙高戸隠連山国立公園第2種特別地域いもり池集団施設地区
高度地区　指定なし
防火地区　指定なし

敷地案内図　ノンスケール



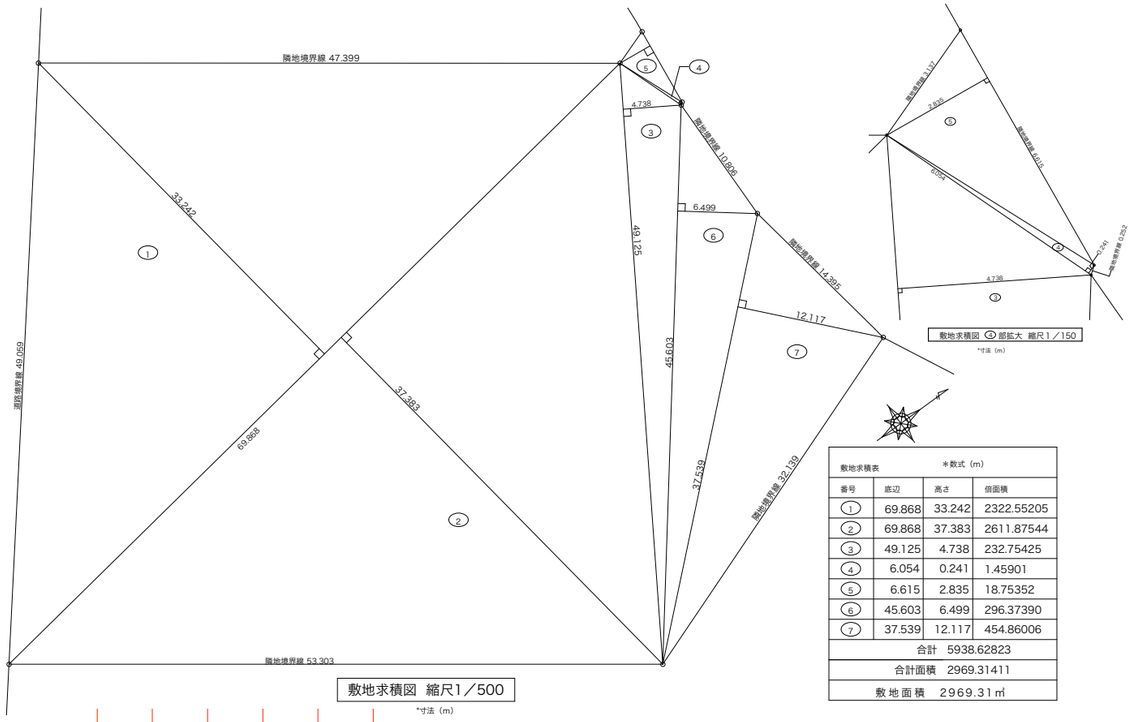

計画建物配置図 縮尺１／150（A3）




配置図 縮尺１／400（A3）

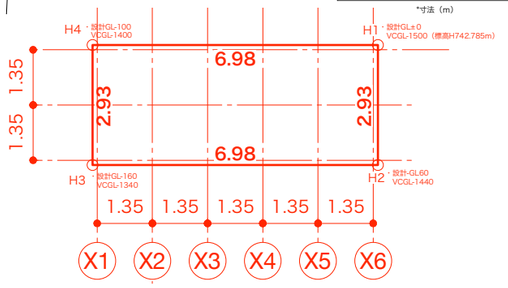
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248－4 | | 図面名称 | 妙高VC庇 計画概要 案内図 配置図 | |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | | 縮　尺 | 図示 | |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | | 図面番号 | A10 | |
| 検　査 | | | 設計者 | 名　称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | | | 所 在 地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

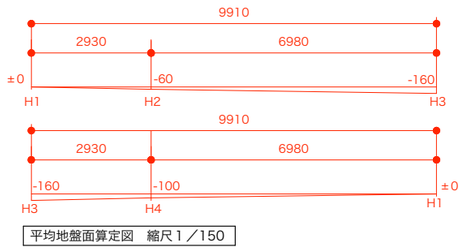



敷地求積図 ③部拡大 縮尺1／150
*寸法（m）

敷地求積図 縮尺1／500
*寸法（m）

| 敷地求積表 | ＊数式（m） | | |
|---|---|---|---|
| 番号 | 底辺 | 高さ | 倍面積 |
| ① | 69.868 | 33.242 | 2322.55205 |
| ② | 69.868 | 37.383 | 2611.87544 |
| ③ | 49.125 | 4.738 | 232.75425 |
| ④ | 6.054 | 0.241 | 1.45901 |
| ⑤ | 6.615 | 2.835 | 18.75352 |
| ⑥ | 45.603 | 6.499 | 296.37390 |
| ⑦ | 37.539 | 12.117 | 454.86006 |
| 合計 | | | 5938.62823 |
| 合計面積 | | | 2969.31411 |
| 敷地面積 | | | 2969.31㎡ |

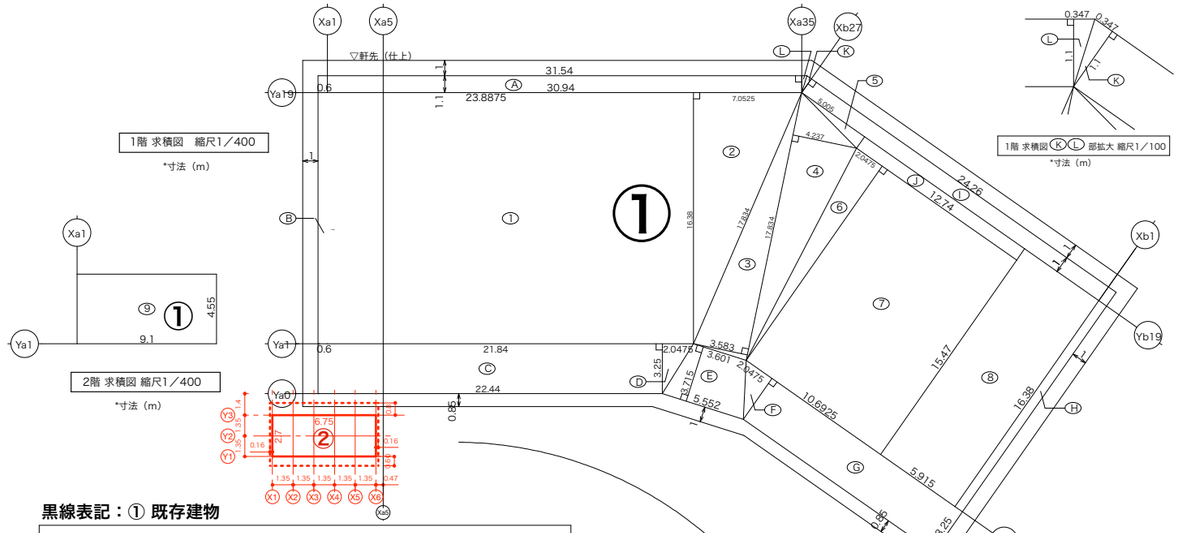



平均地盤面算定図 縮尺1／150

| | | 高さ1 | | 高さ2 | | | 長さ | | | | 面積 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H1-H2 | ( | 0 | + | -60 | ) | x | 2930 | ／ | 2 | = | -87900 |
| H2-H3 | ( | -60 | + | -160 | ) | x | 6980 | ／ | 2 | = | -767800 |
| H3-H4 | ( | -160 | + | -100 | ) | x | 2930 | ／ | 2 | = | -380900 |
| H4-H1 | ( | -130 | + | 0 | ) | x | 6980 | ／ | 2 | = | -453700 |
| | | | | | | | 長さ合計 | | | | 面積合計 |
| | | | | | | | 19820 | | | | -1690300 |
| | | 面積合計 | | 長さ合計 | | | | | | | 平均地盤面高さ |
| | | -1690300 | ／ | 19820 | | | | | | = | -85.282543 |

平均地盤面高さ　設計GL-85.28




1階 求積図　縮尺1／400
*寸法（m）

2階 求積図 縮尺1／400
*寸法（m）

1階 求積図 K L 部拡大 縮尺1／100
*寸法（m）

## 黒線表記：① 既存建物

| 建物求積表 | ＊数式（m） | |
|---|---|---|
| 番号 | 数式（m） | 面積 |
| ① | 23.8875 × 16.38 | 391.27725 |
| ② | (16.38 × 7.0525) ÷ 2 | 57.759975 |
| ③ | (17.834 × 3.583) ÷ 2 | 31.949611 |
| ④ | (17.834 × 4.237) ÷ 2 | 37.781329 |
| ⑤ | (5.005 × 0.91) ÷ 2 | 2.277275 |
| ⑥ | (15.47 × 2.0475) ÷ 2 | 15.8374125 |
| ⑦ | 10.6925 × 15.47 | 165.412975 |
| ⑧ | 5.915 × 16.38 | 96.8877 |
| ⑨ | 9.1 × 4.55 | 41.405 |
| Ⓐ | 31.54 × 1.1 | 34.694 |
| Ⓑ | 16.38 × 0.6 | 9.828 |
| Ⓒ | 22.44 × 3.25 | 72.93 |
| Ⓓ | (2.0475 × 3.25) ÷ 2 | 3.3271875 |
| Ⓔ | (3.601+5.552)÷2×3.715 | 17.0016975 |
| Ⓕ | (2.0475 × 3.25) ÷ 2 | 3.3271875 |
| Ⓖ | 15.16 × 3.25 | 49.27 |
| Ⓗ | 16.38 × 0.6 | 9.828 |
| Ⓘ | 24.26 × 1.1 | 26.686 |
| Ⓙ | 12.74 × 0.91 | 11.5934 |
| Ⓚ | (0.347 × 1.1) ÷ 2 | 0.19085 |
| Ⓛ | (0.347 × 1.1) ÷ 2 | 0.19085 |

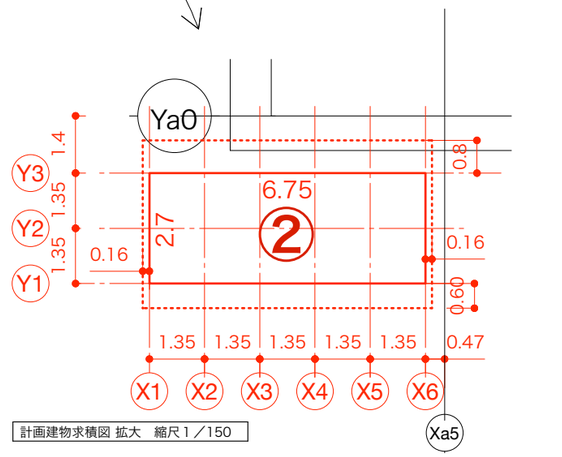
| | | | |
|---|---|---|---|
| 1F床面積表 ①～⑧ | | ＝799.183528 | 799.18㎡ |
| 2F床面積表 ⑨ | | ＝41.405 | 41.40㎡ |
| 延床面積 | 1F床面積 ＋ 2F床面積 | | 840.58㎡ |
| 建築面積 | ①～⑧＋Ⓐ～Ⓛ | ＝1038.051 | 1038.05㎡ |

## 赤線表記：② 計画建物

| 建物求積表 | ＊数式（m） | |
|---|---|---|
| 番号 | 数式（m） | 面積 |
| | 2.7 × 6.75 | 18.23 |

＊十分に外気に開放され、かつ、屋内的用途に供しない部分　0.00㎡

建築面積　18.23㎡



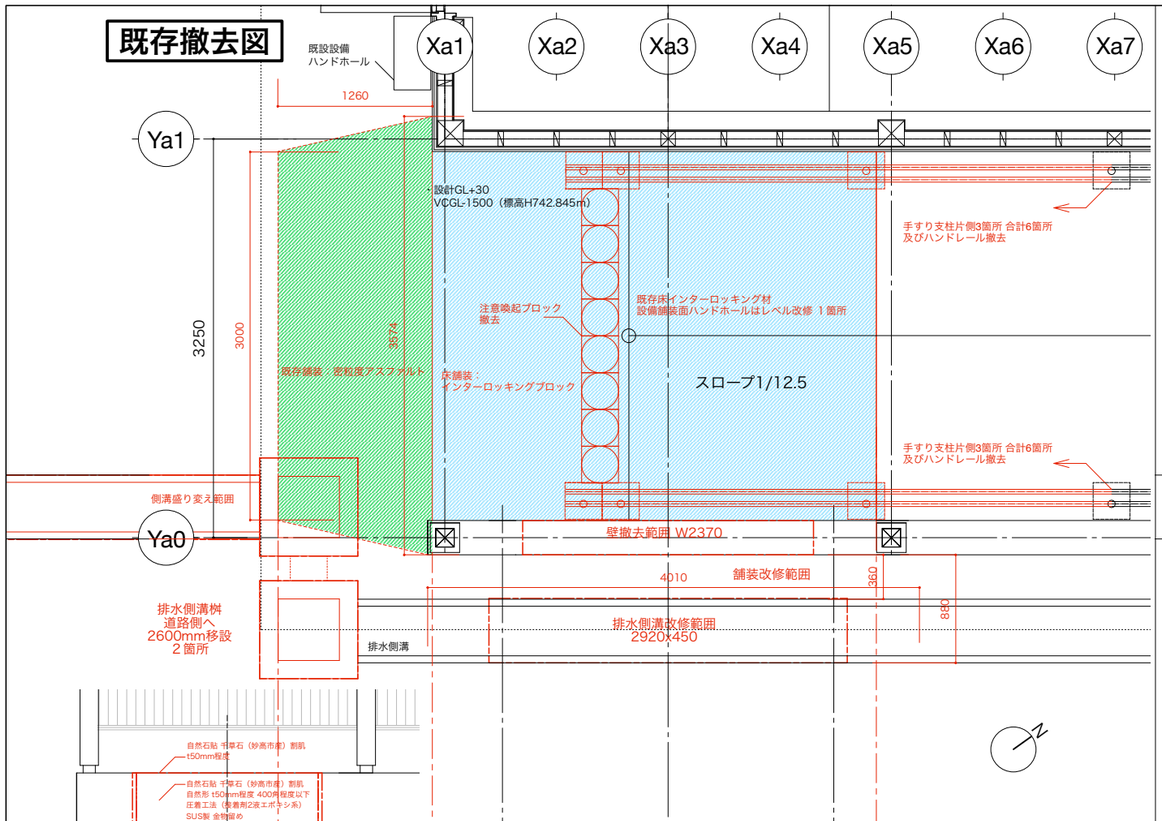

計画建物求積図 拡大　縮尺1／150

| 仕上表 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 屋根まわり | 屋根 | 仕　上　：フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.4 定尺工法横葺 @182程度<br>下　地　：改質アスファルトルーフィング 防水シートt2.8<br>構造用合板t24 | 壁まわり | コンクリート壁 | コンクリート撥水材　：サンキ化工　サンマテラーインナーカラー、サンマテラーフレア同等品<br>サンマテラーインナーカラー2回塗布0.2kg/m²乾燥後、サンマテラーフレア2回塗布0.2kg/m² |
| | 軒天 | すぎ小幅板t12　木材保護塗料塗りA種　キシラデコール バリサンダ同等 | 木部塗料<br>＊特記なき限り木部仕上げ全て | | 木材保護塗料塗りA種　キシラデコール バリサンダ同等 |
| 床まわり | インターロッキング | インターロッキングブロックt80 | | | |
| | アスファルト舗装 | スロープ及び踊場：密粒度カラーアスコン<br>駐車場など外構：アスファルト　＊既存仕様と同等 | | | |
| | 玉石 | 灰玉石 | | | |

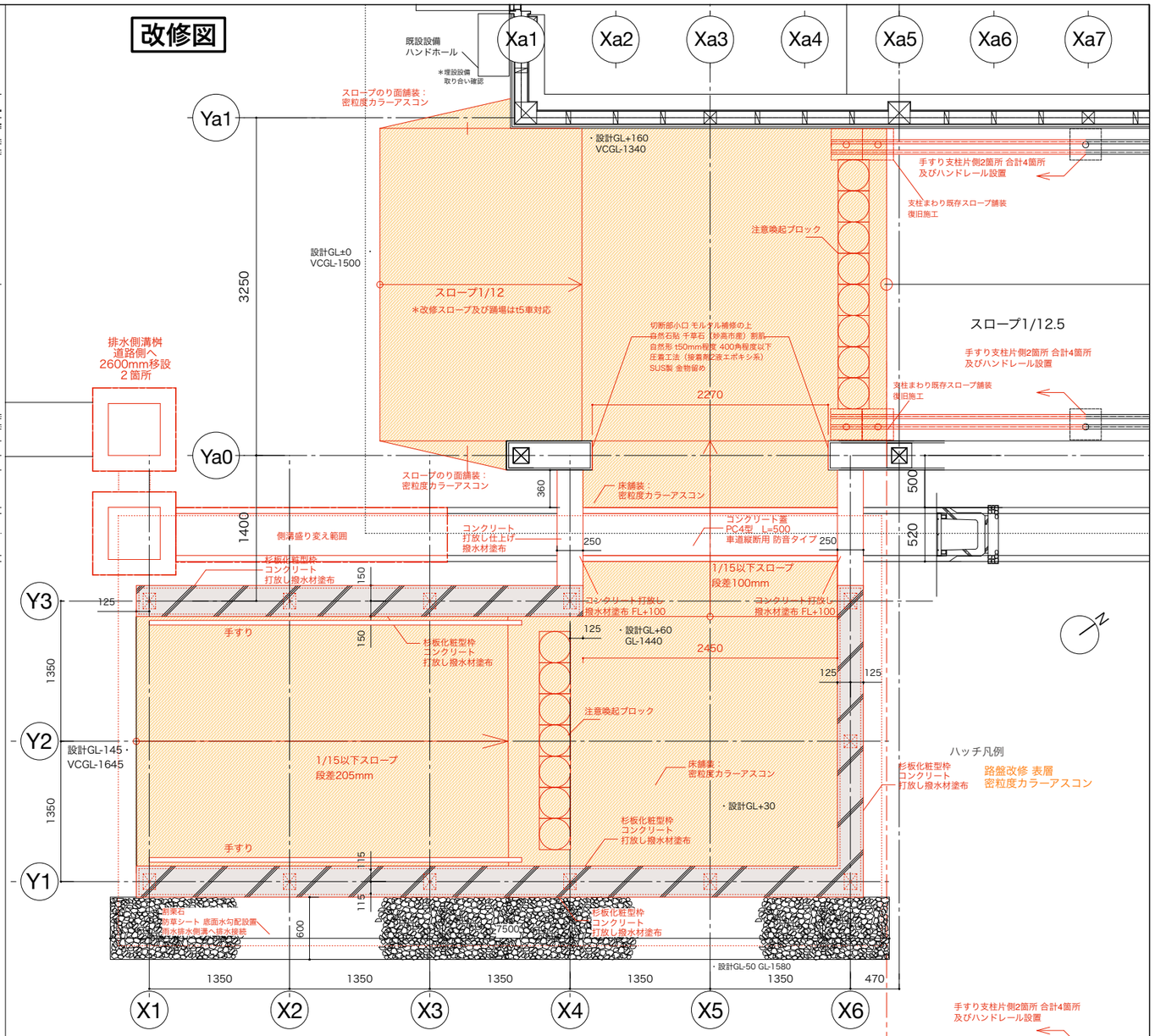
＊石綿を添加した材料は使用しない。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248－4 | 図面名称 | 妙高VC庇 求積図 仕上表 | | |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | 縮　尺 | 図示 | | |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | 図面番号 | A11 | | |
| 検　査 | | 設計者 | 名　称 | (有)金箱構造設計事務所 | |
| | | | 資格者氏名 | 金箱 温春 | |
| | | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録 第122854号 | |
| | | | 所 在 地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 | |

# 既存撤去図




# 改修図




| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−4 | | 図面名称 | 妙高VC庇 改修前後既存矩計図 | |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | | 縮 尺 | 1／50（A3） | |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | | 図面番号 | A12 | |
| 検 査 | | | 設計者 | 名 称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | | | 所 在 地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

Xa1

Xa5

屋根：フッ素ガルバリウム鋼板 t0.4
定尺工法横葺 @200
下葺材 防水性ルーフィング
構造用合板t24

300

鼻隠板

常設雪囲い板
105x30 180@
t30 断面台形

伸縮目地

125

1350 1350 1350 470

X4 X5 X6

雪

既存断面図は
A-15図参照

既存建物軒天井に
450角既存天井仕上げ
杉板t18 OSCL 同材
目地タイプ点検口２箇所設置

820

▽建物高さ4,655.28

10
4.5

589 608 608 1165

4570

屋根：フッ素ガルバリウム鋼板 t0.4
定尺工法横葺 @200
下葺材 防水性ルーフィング
構造用合板t24

618

鼻隠板

既存建物より
照明電源配線を取る
（電気工事）

常設雪囲い板
105x30 180@
t30 断面台形

照明配線（電気工事）

水平ブレース丸鋼

照明器具（電気工事）

345

▽RC壁高さ設計GL+1600

手すり２段
高さ650,850

2465

杉板化粧型枠
コンクリート
打放し撥水材塗布

1600

300

杉板化粧型枠
コンクリート
打放し撥水材塗布

計画建物

既存建物

割栗石
防草シート 底面水勾配設置

密粒度カラーアスコン t=50
レベル調整 路盤 粒調砕石路盤 RM-30

85.28

▽設計GL+60 GL-1440

▽設計GL±0
▽平均地盤面GL-85.28

600

360

520 500

▽設計GL+160 GL-1340
▽設計GL±0 GL-1500

300 600 300

駐車場２％勾配

50～150程度

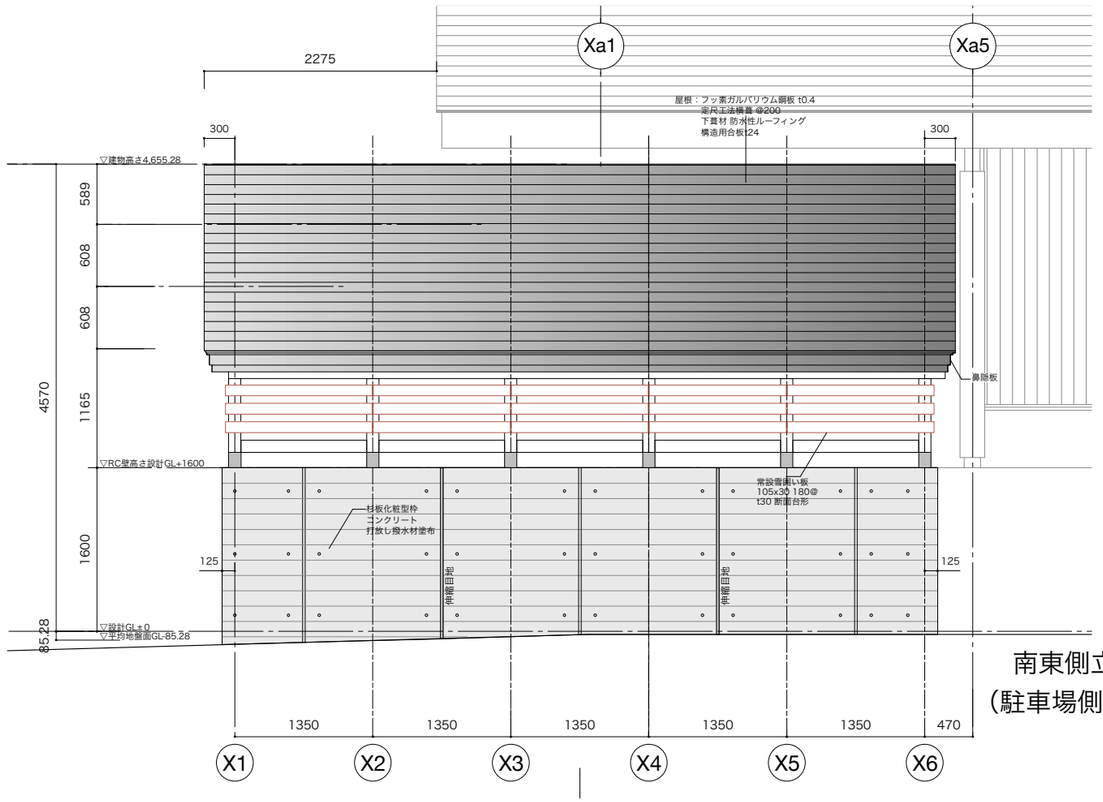
400 1350 1350 1350

Y1 Y2 Y3 Ya0

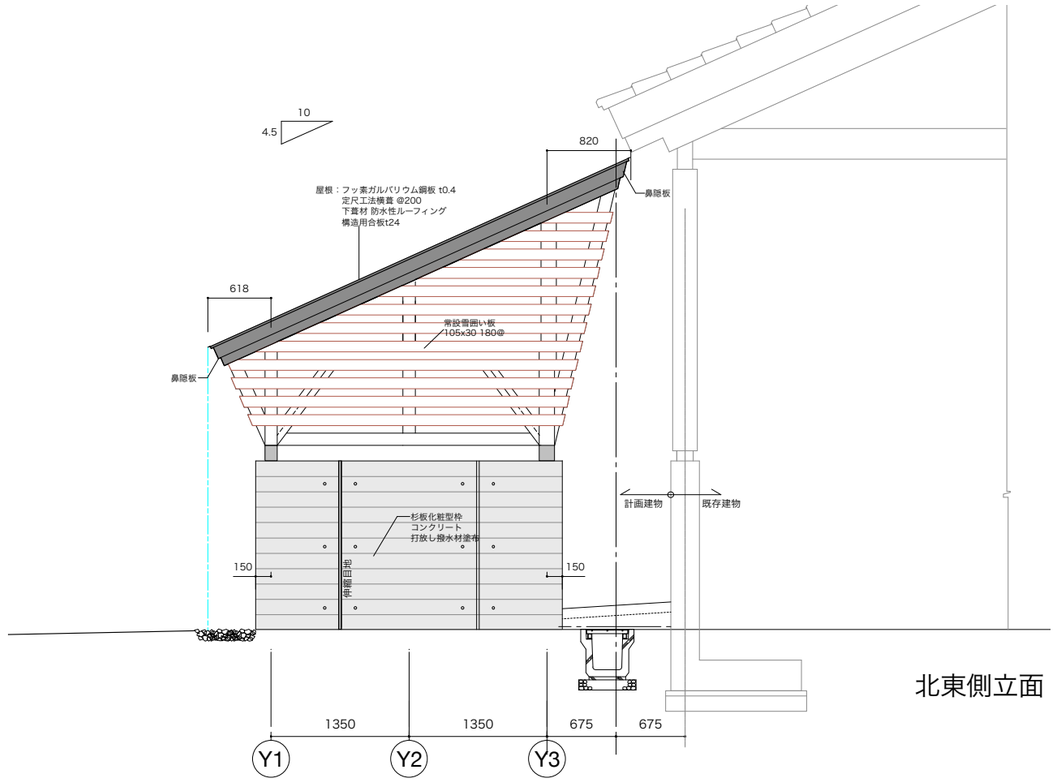
仕上げ凡例

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 屋根まわり | 屋根 | ガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装<br>国土交通省認定 不燃号番号 NM-8697 | | 壁まわり | 木部 | 木構造材、雪囲い材　焦茶色 |
| | | | | | コンクリート | 杉板化粧型枠 打放し コンクリート保護材クリア |

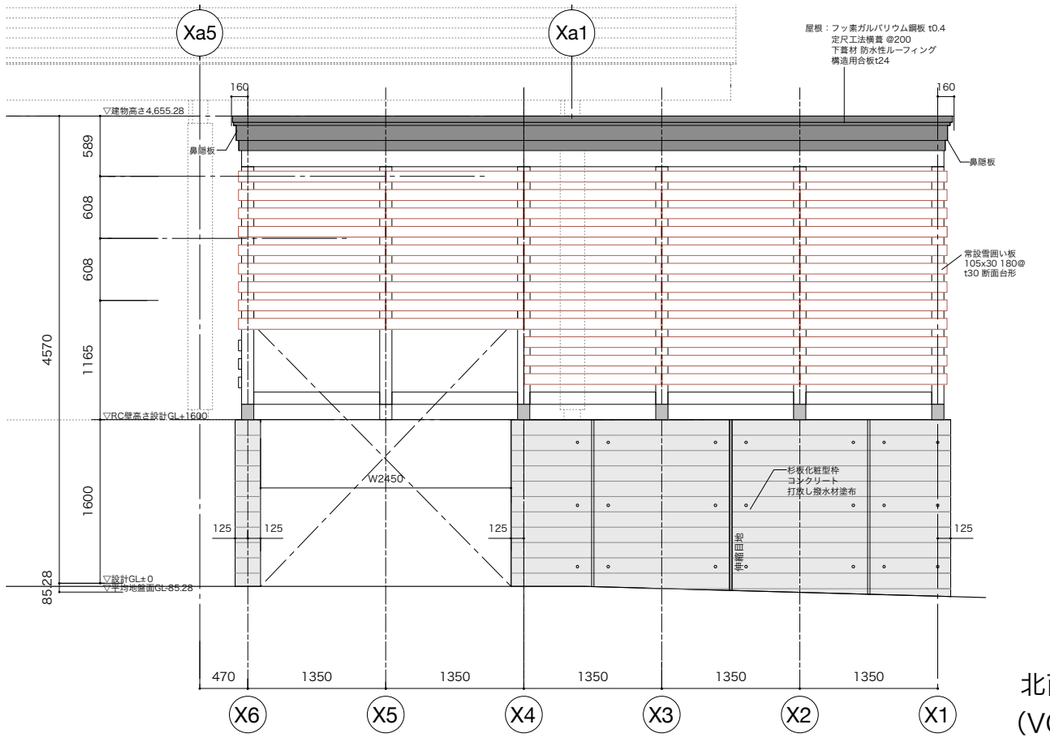
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−４ | | 図面名称 | 妙高VC庇 矩計図 | |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | | 縮　尺 | 1／30（A3） | |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | | 図面番号 | A13 | |
| 検　査 | | 設計者 | 名　称 | (有)金箱構造設計事務所 | |
| | | | 資格者氏名 | 金箱 温春 | |
| | | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録 第122854号 | |
| | | | 所 在 地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 | |



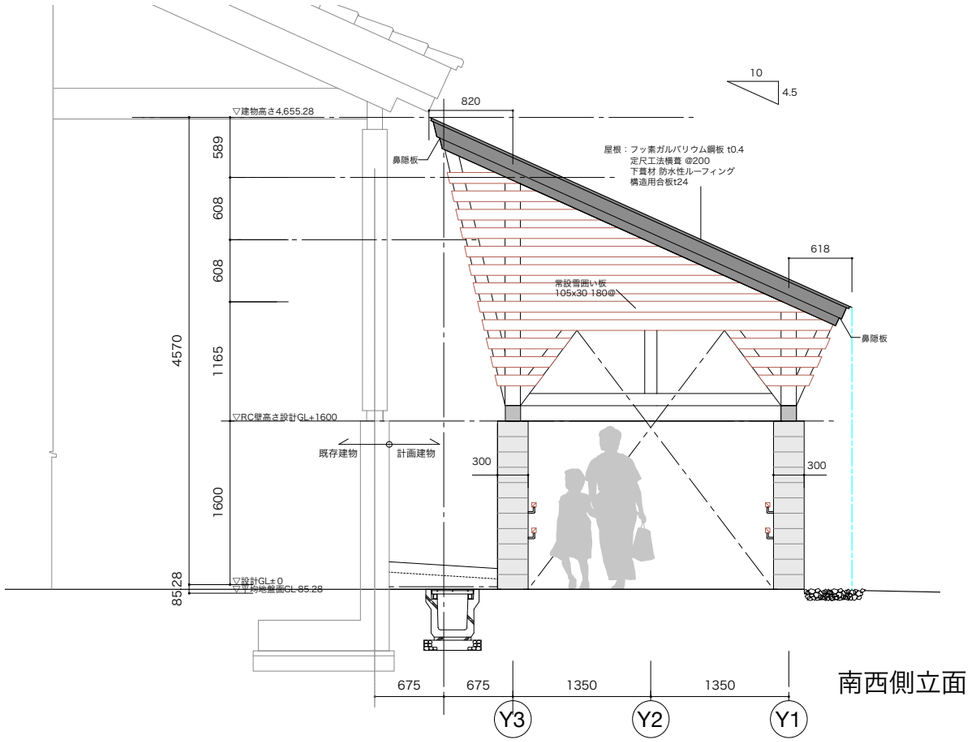

南東側立面
（駐車場側立面）




北東側立面




北西側立面
（VC側立面）

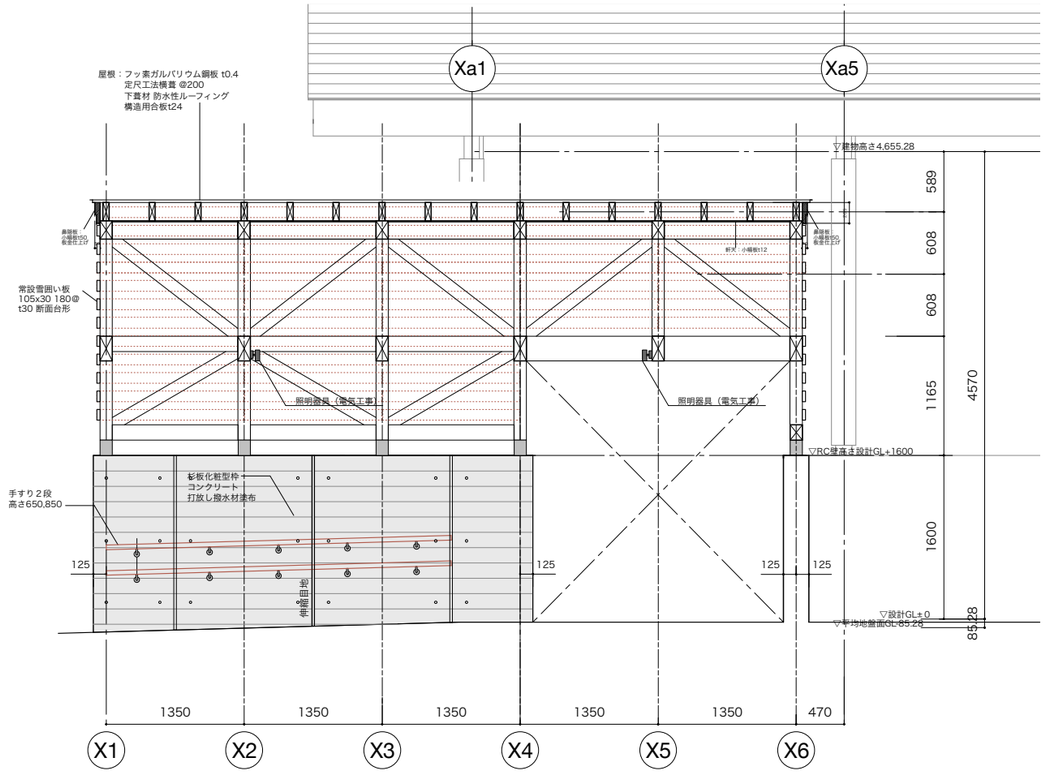


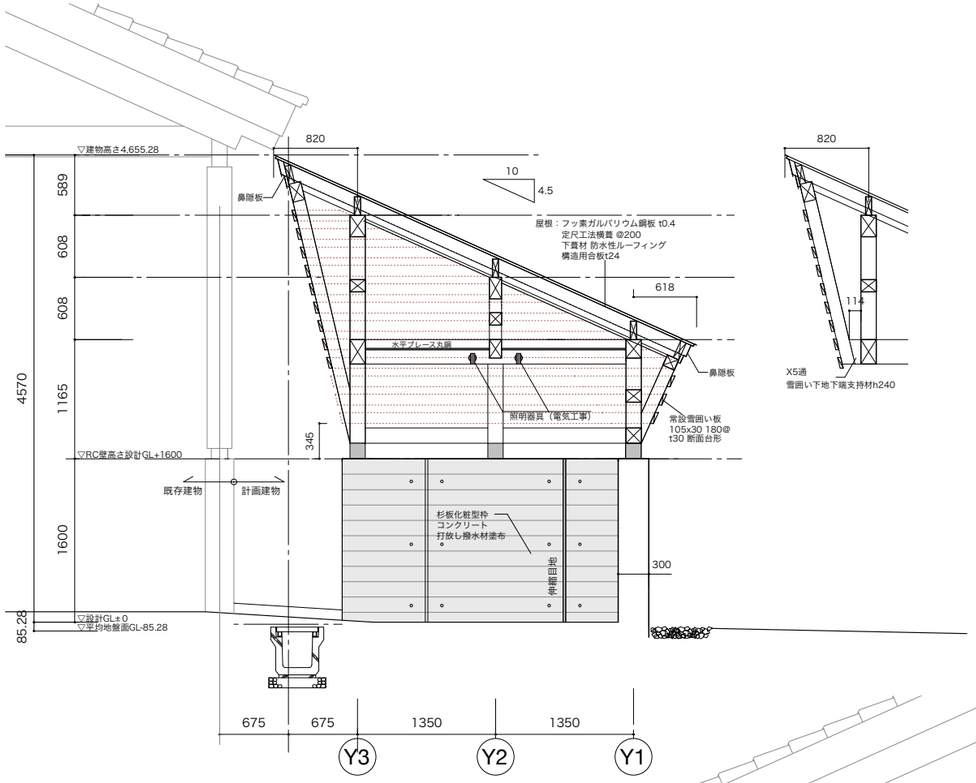

南西側立面

仕上げ凡例

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 屋根まわり | 屋根 | ガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装 | 壁まわり | 木部 | 木構造材、雪囲い材　焦茶色 |
| | | 国土交通省認定 不燃号番号 NM-8697 | | コンクリート | 杉板化粧型枠 打放し コンクリート保護材クリア |

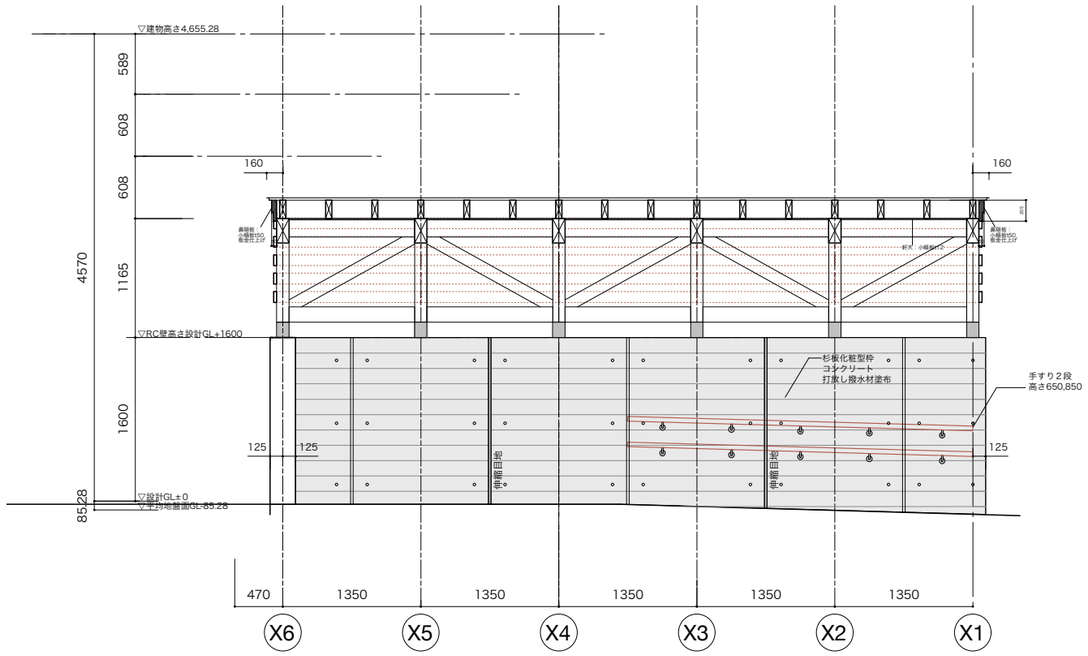
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−4 | | | 図面名称 | 妙高VC庇　立面図 |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | | | 縮　尺 | 1／60（A3） |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | | | 図面番号 | A14 |
| 検　査 | | | | 設計者 | 名　称：(有)金箱構造設計事務所 |
| | | | | | 資格者氏名：金箱 温春 |
| | | | | | 登録番号：一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | | | | 所 在 地：一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

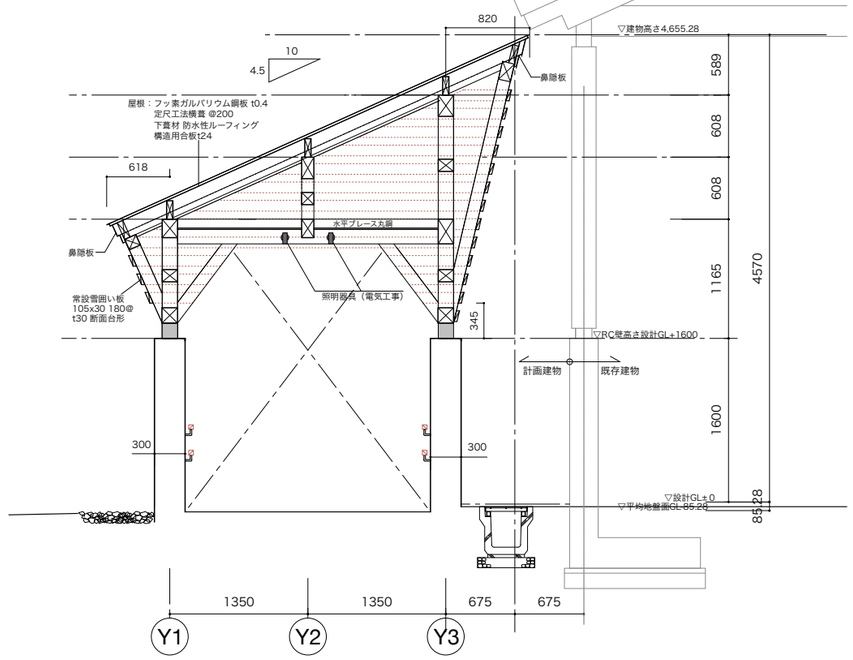


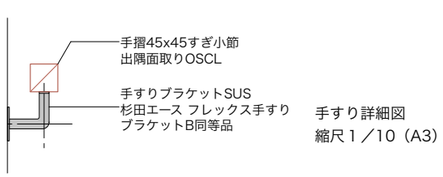









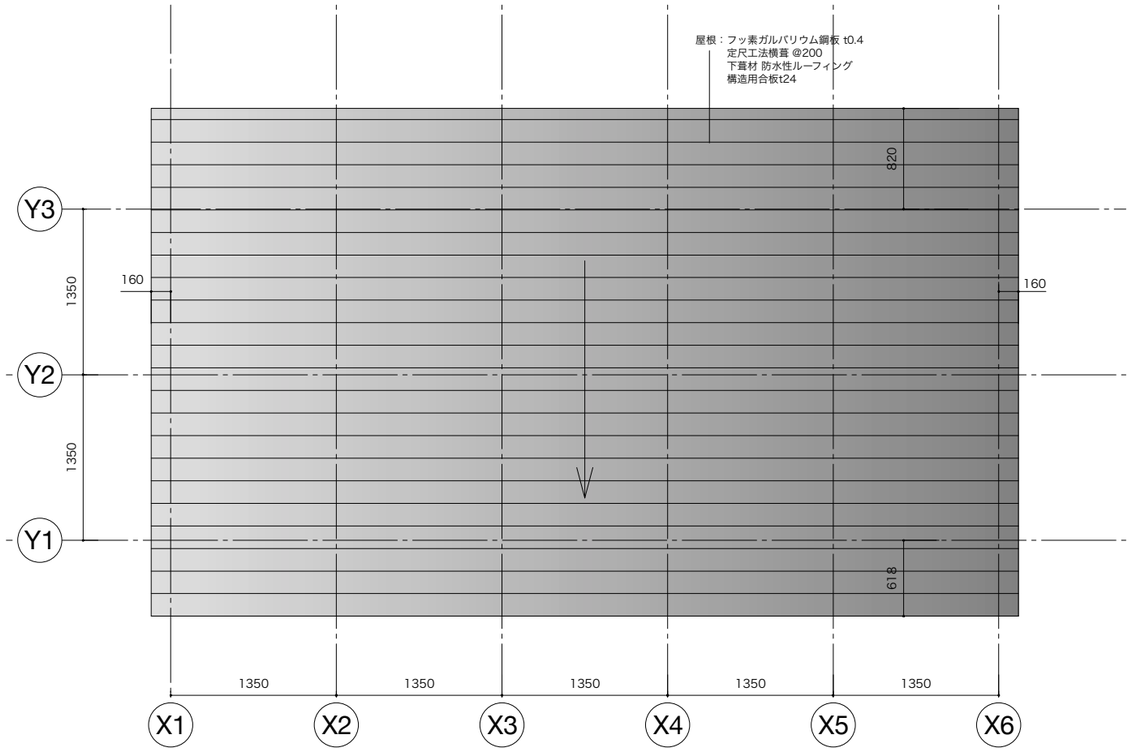



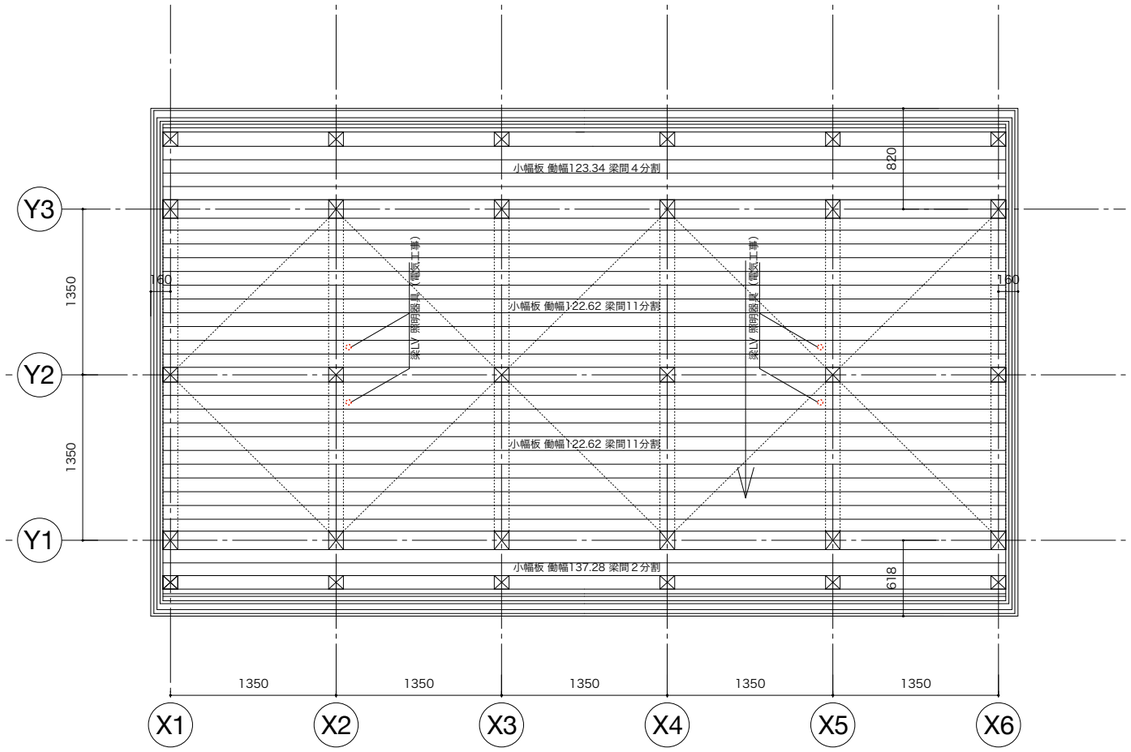

手すり詳細図
縮尺1／10（A3）

| 仕上げ凡例 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 屋根まわり | 屋根 | ガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装 | 壁まわり | 木部 | 木構造材、雪囲い材　焦茶色 |
| | | 国土交通省認定 不燃号番号 NM-8697 | | コンクリート | 杉板化粧型枠 打放し コンクリート保護材クリア |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−4 | | | | 図面名称 | 妙高VC庇　展開図 | |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | | | | 縮　尺 | 1／60（A3） | |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | | | | 図面番号 | A15 | |
| 検　査 | | | | | 設計者 | 名　称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | | | | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | | | | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録　第122854号 |
| | | | | | | 所 在 地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録　第36591号 |



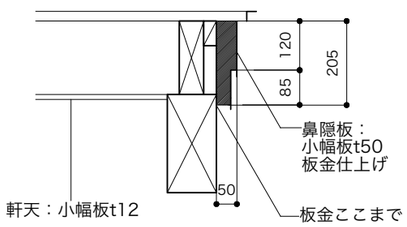

屋根伏図

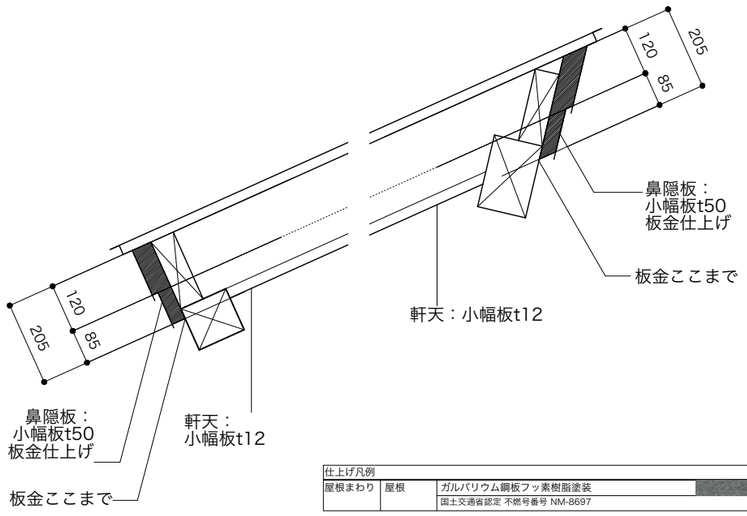



天井伏図



屋根端部詳細図　縮尺1／15（A３）



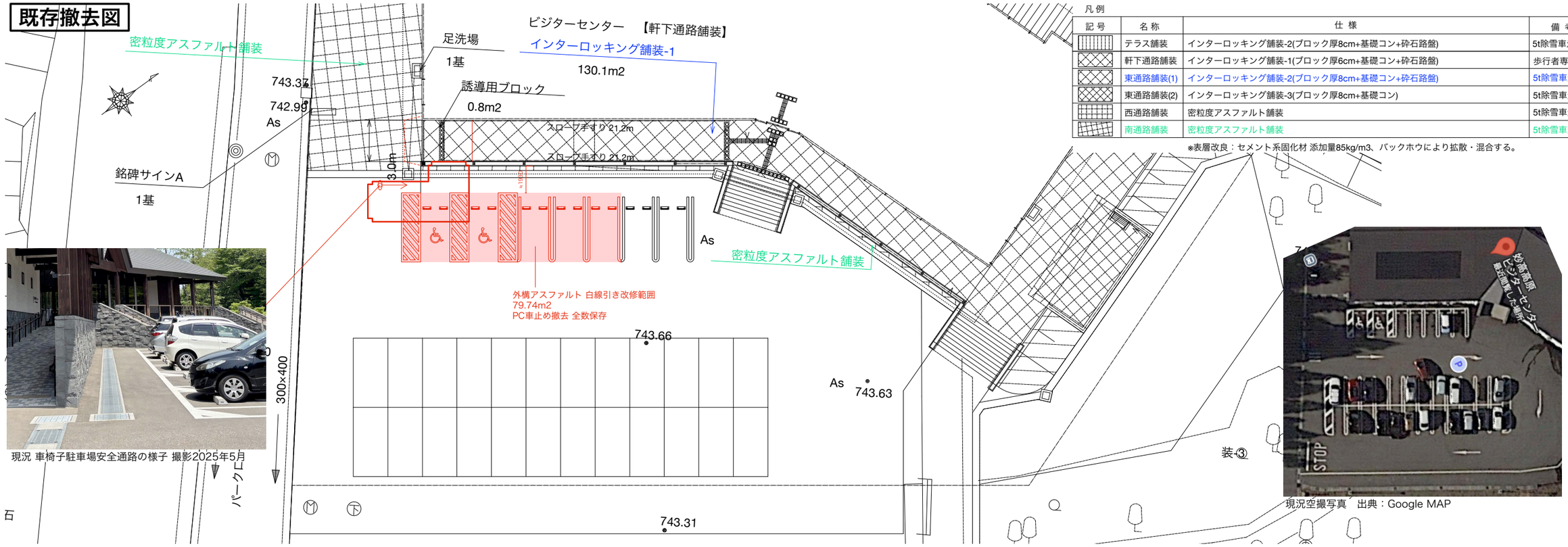

| 取付場所 | 品　番　／　仕　様 | 数量 |
|---|---|---|
| エントランス庇 | ＤＯＬ－５７２４ＹＢＧ＊ＬＥＤ屋外スポットライト LED 4W (E11)2700K | 4 |

仕上げ凡例

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 屋根まわり | 屋根 | ガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装 | 壁まわり | 木部 | 木構造材、雪囲い材　焦茶色 |
| | | 国土交通省認定 不燃号番号 NM-8697 | | コンクリート | 杉板化粧型枠 打放し コンクリート保護材クリア |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−４ | 図面名称 | 妙高VC庇 屋根伏図 天井伏図 | | |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | 縮　尺 | １／50（A3） | | |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | 図面番号 | A16 | | |
| 検　査 | | | | 設計者 | 名　称 (有)金箱構造設計事務所 |
| | | | | | 資格者氏名 金箱 温春 |
| | | | | | 登録番号 一級建築士 大臣登録 第122854号 |
| | | | | | 所 在 地 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 |

# 既存撤去図




| 凡例 | | | |
|---|---|---|---|
| 記号 | 名称 | 仕様 | 備考 |
| | テラス舗装 | インターロッキング舗装-2(ブロック厚8cm+基礎コン+砕石路盤) | 5t除雪車走行区間 |
| | 軒下通路舗装 | インターロッキング舗装-1(ブロック厚6cm+基礎コン+砕石路盤) | 歩行者専用区間 |
| | 東通路舗装(1) | インターロッキング舗装-2(ブロック厚8cm+基礎コン+砕石路盤) | 5t除雪車走行区間 |
| | 東通路舗装(2) | インターロッキング舗装-3(ブロック厚8cm+基礎コン) | 5t除雪車走行区間 |
| | 西通路舗装 | 密粒度アスファルト舗装 | 5t除雪車走行区間 |
| | 南通路舗装 | 密粒度アスファルト舗装 | 5t除雪車走行区間 |

※表層改良：セメント系固化材 添加量85kg/m3、バックホウにより拡散・混合する。

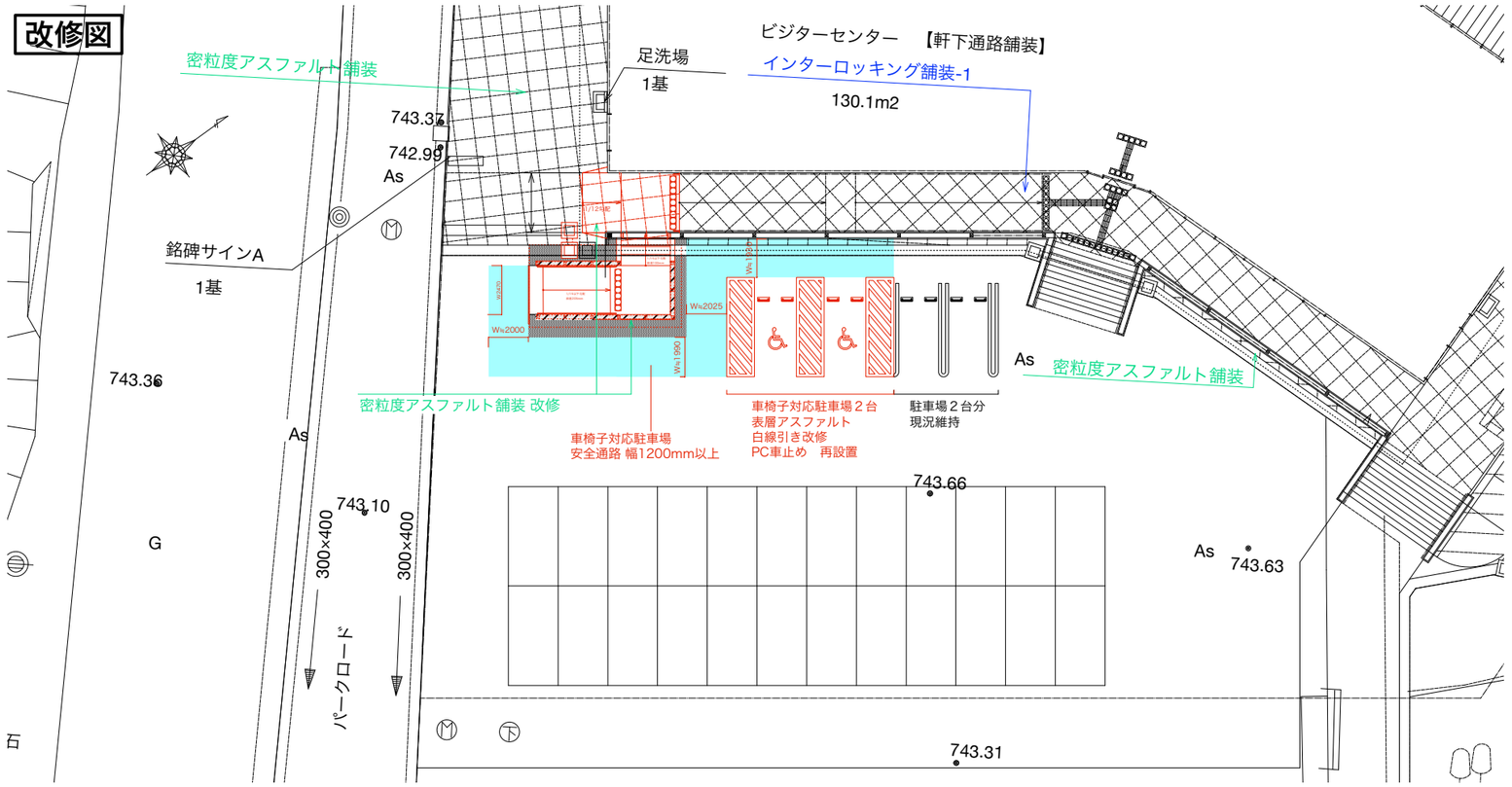


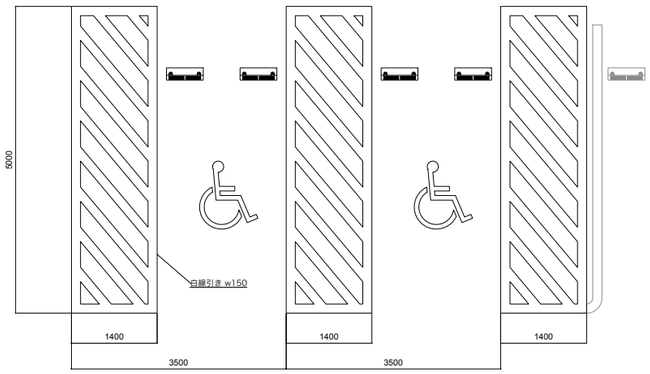
現況 車椅子駐車場安全通路の様子 撮影2025年5月



現況空撮写真　出典：Google MAP

# 改修図



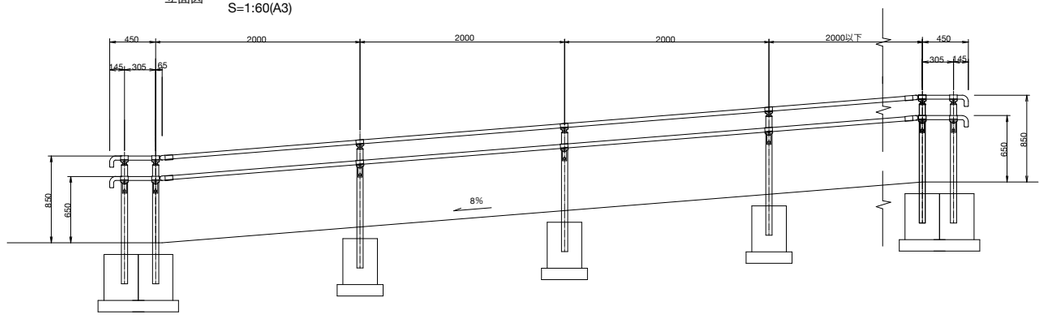

車椅子対応駐車スペース
（道路の移動円滑化整備ガイドライン参照）　　縮尺１／100

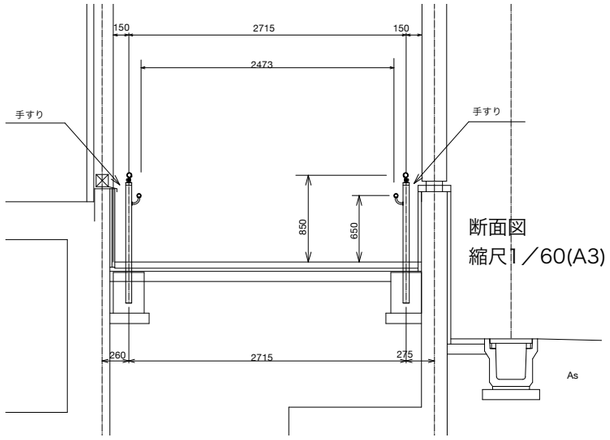
＊施工に先立ち、増築部墨出しと既存駐車スペース
白線引きの関係を確認し監督員に図面報告すること

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248−4 | 図面名称 | 妙高VC庇 外構図 |
| 発注機関 | 中部環境局　信越自然環境事務所 | 縮　尺 | 1／300（A3） |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | 図面番号 | A17 |
| 検　査 | | 設計者 名　称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録　第122854号 |
| | | 所在地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録　第36591号 |

## 現況スロープ手摺

立面図　S=1:30(A1)
S=1:60(A3)

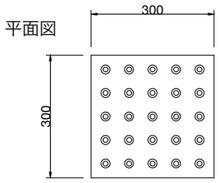


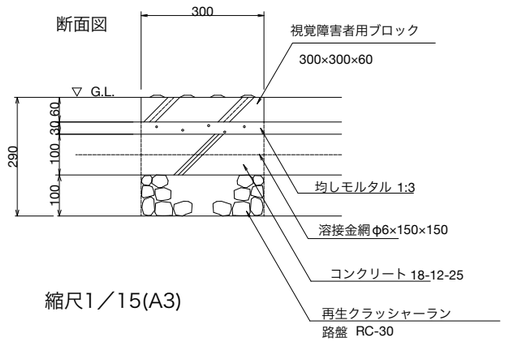

断面図
縮尺1／60(A3)

## 注意喚起ブロック

平面図



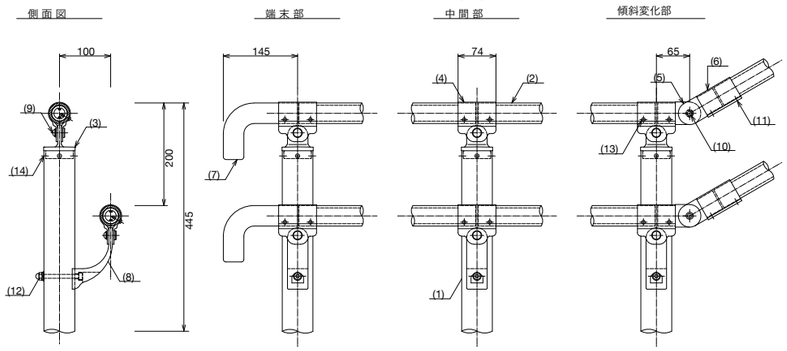

断面図

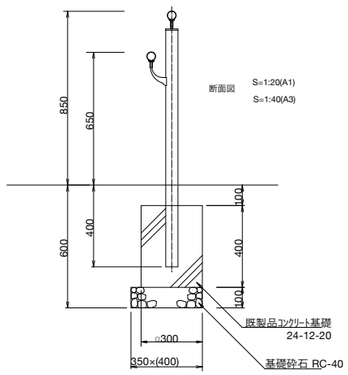



縮尺1／15(A3)

## 部分詳細図

S=1: 6(A1)
S=1:12(A3)

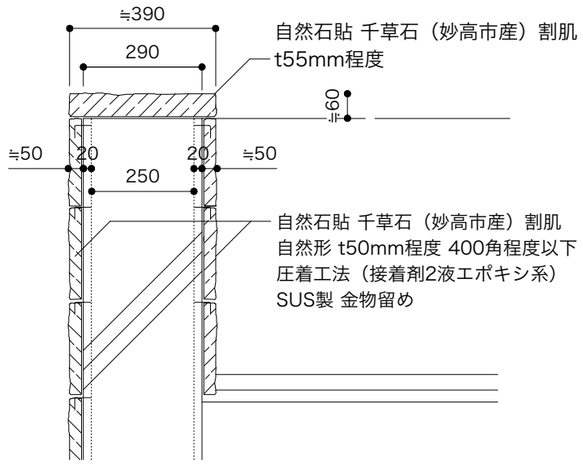



断面図　S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

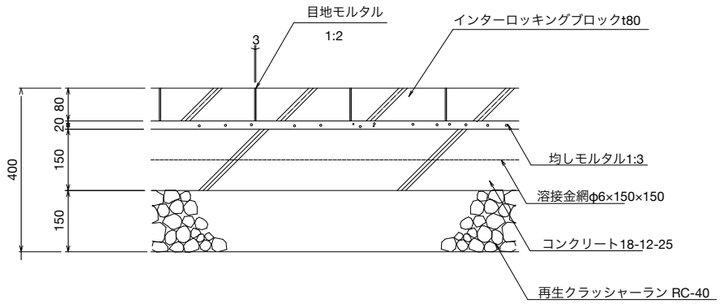
| 部番 | 名　称 | 形　状 | 材　質 |
|---|---|---|---|
| (1) | 支　柱 | φ60 × 3.0t | A6N01S-T5 |
| (2) | 手　摺 | φ40 × 4.5t | 汴化合成木材 |
| | 芯　材 | φ30.5 × 4.5t | A6N01S-T5 |
| (3) | キャップ金具A | φ60 用 | ADC 12 |
| (4) | キャップ金具B | φ40用 (t=74) | A6063S-T5 |
| (5) | フレキシブル金具A | φ40用 (1セット/2ヶ) | ADC 12 |
| (6) | フレキシブル金具B | φ40用 (t=75) | A6063S-T5 |
| (7) | 端末手摺 | φ40 | AC4C - F |
| (8) | ブラケット | φ40用(出巾=100) | AC4C-T6 |
| (9) | 六角穴付ボタンボルト | M8×15 B,FN,W | SUS |
| (10) | 六角穴付ボルト | M8 × 20 B,SW | // |
| (11) | 六角穴付止ネジ | M6 × 6 B | // |
| (12) | 六角穴付ボルト | M8×80 B,CN,W,SW | // |
| (13) | ビアスビス(けべ) | φ4 × 19 B | // |
| (14) | ビアスビス(皿頭) | φ4 × 19 B | // |

＊合成木材については、サンディング仕上 (ダークカラー)
＊アルミ形材(芯材除く)については、アルマイト (マットブラウン)
　アルミ鋳物については、塗装 (マットブラウン) 仕上とする。
＊ボルト、ビス類についてはブロンズ色とする。
＊製品は、メーカーの指定する損害賠償責任保険に加入しているものとする。




壁撤去範囲断面詳細図　縮尺1／15(A3)

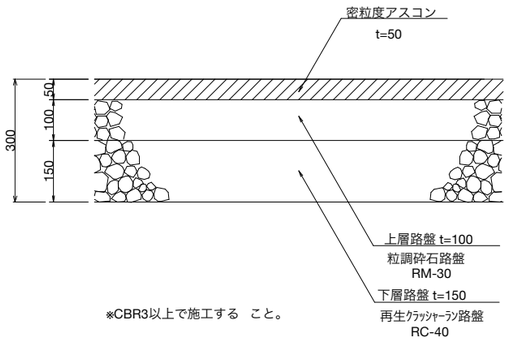
## インターロッキング舗装-2




※インターロッキングブロックはサンプル提示の上、監督員の承諾を受けること。

縮尺1／15(A3)

## 密粒度アスファルト舗装




※CBR3以上で施工する　こと。

縮尺1／15(A3)

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 令和8年度（翌債）妙高戸隠連山国立公園妙高高原ビジターセンターエントランス改修工事 | | | | | | |
| 工事場所 | 新潟県妙高市関川2248－4 | | | | 図面名称 | 妙高VC庇 既存部分詳細図 | |
| 発注機関 | 中部環境局 信越自然環境事務所 | | | | 縮　尺 | 図示 | |
| 公園名称 | 妙高戸隠連山国立公園 | | | | 図面番号 | A18 | |
| 検　査 | | | | | 設計者 | 名　称 | (有)金箱構造設計事務所 |
| | | | | | | 資格者氏名 | 金箱 温春 |
| | | | | | | 登録番号 | 一級建築士 大臣登録　第122854号 |
| | | | | | | 所 在 地 | 一級建築士事務所 東京都知事登録　第36591号 |